年中無休刊（日曜日及祭日翌日休刊） 大正七年四月二十九日 THE KEIJO NIPPO （明治三十九年八月十日第三種郵便物認可） 第三千八百七號（一）

京城日報

二十八日夕刊（朝夕刊を併せて八頁）

時間表 [illegible]

○聯合軍諸陣地撤退 獨軍攻擊猛烈、激戰繼續

バイエールの北よりウエテシエートの東に至る英佛軍各陣地は終日猛烈なる攻撃を受け此の正面は全線に亙りて激戰あり殊にドランシユートル、ケメル、ヴイエールトラート附近にて激烈を極めしが引續ける敵の來襲に對し聯合軍は最近保持したる諸陣地より退却するの已むを得ざるに至りしも其他は變化無く戰鬪は猶繼續中なり（倫敦電報）

○段總理坐乘艦衝突 汽船江寛沈沒―千餘名溺死か

段總理は二十六日午後五時上海を發し八時孝感停車場にて軍艦楚泰に乘移り南京に向ひしが漢口の下流二十支里のところにて支那汽船江寛と衝突し江寛は直に沈沒し楚泰は損害不明なり尙江寛の乘客一千餘名溺死せるものゝ如く英人船長は行衞不明なり（上海特電）

○山東省土匪猖獗

山東省西南部の土匪猖獗を極め山東鐵道沿線臨晉縣に侵入し聯城を陷れし猛威を振ひ居れるが官兵は力足らず又討伐の意なし（北京特電）

●船價の奔騰と海運界

米國への船腹提供と日米船鐵交換より來る船腹不足―朝鄭の橫斷航路就航船買收難

日本郵船會社京城支店長 朝鮮郵船會社長 原田金之祐氏談

廿七日夜入京せし朝鮮郵船取締役會長日本郵船京城支店長原田金之祐氏の談に曰く

▲船價奔騰 本邦の海運界も米國に對する船腹提供やら米國との船鐵交換實行やらで傭船料並に船價は益々高く更に目先も强氣である、乃ち傭船料は噸四十圓と云ふ値を出し船價は相當のもので貨物船八百圓貨客船一千圓と云ふ素晴らしい景況を呈してゐる、日本郵船で第一次として米國へ船腹を提供した噸數は六萬噸で大阪商船や東洋汽船やその他社外船合計十五萬噸に上つたが戰局尙ほ永續するとすれば更に第二次第三次の提供餘が湧いて來るかも知れぬ、日本郵船も所有船は多いのであるが六萬噸を割くと云ふ事は可なり苦しい、然しその補充は夙に傭船をしてゐてそれで補ふてゐるから▲航運上の缺陷 はない、何分現下の傭船料は噸四十圓と云ふに米國へ提供した傭船料は噸二十五圓であるからそこに十五圓の差がある、その差は政府より補償する事となつてゐるが日郵では前述の如く早く低廉に傭船をしてゐたから船腹提供により受くる損失はない、但し更に第二次第三次と引續けば條件次第で相當の影響を覺悟せねばならぬかも知れぬ、又造船業者側の船鐵交換も既に第一回十五萬噸は協調を終り第二次第三次と續く模樣で之等の狀勢が傭船料を昂騰させてゐるのであるが、然し乍ら船鐵交換は船一噸に付鐵一、七五若くは二噸を收得し、その

▲鐵一噸は 三噸の船となるのであるから一噸の船を米國に提供すると五噸乃至六噸の船を建造が出來る譯合だ而して日本の造船業も近時大に進步し一萬噸級の船でも川崎造船所や大阪鐵工所では着手後四箇月間に艤裝を終ると云ふ勢ひだから船鐵交換により鐵が續々日本へ輸入され新船が引續き建造さるれば船舶界も幾分緩和を見る事になるかも知れぬ、日に當分は到底望めないであらう、日本郵船も成績は引續きよい、英米佛其他の

▲貿易制限 により復航は々少貨物減少の氣味もあるが往航は歐米行き共に到底積載し切れぬ狀況にある、然し日郵の主力を注げる歐洲航路は命令航路が多くて運賃の如き相場の二三割と云ふ位に拘束を受けてゐるから相當收益もあるやうだがまだ／＼非常に減殺されてゐる、若し此際すべてを自由航路として活動したらその成績はそれこそ莫大なものであらうと思はるゝ

▲朝郵買船難 朝鮮郵船の淸津敦賀間の日本海橫斷航路も開航後の成績に徵すると餘程よい、運賃の安い故もあらうが北鮮と中部日本の連繫は今後益々同航路によつて固く結ばれる事と思はれる、又就航船も今は一千二百噸級の平壤丸だから命令條件に適合せる二千噸級船を買船又は傭船して充當させたいのであるが何分前述の如く船價一千圓としては二千噸級を得るのに二百萬圓を要する云ふ譯で朝鮮郵船會社現在の拂込額以上を支出せねばならぬ、それで買つても高い運賃の航路に就かするなら船價の償却も出來て行くが極端に安い日本海航路は到底それは出來ない相談と云ふべく玆姑く現在の船で繼續する外はなからう、それを無理にやる事はつまり會社の破產と云ふ事を意味するから事情止むを得ない

▲重役改選 現在朝郵の役員も三十日で滿期となり全員改選の筈だが一二の異動はあつても全體の重役に變化を見る事はあるまい尤もコレは株主總會の結果に待つのだが、予等はさうして欲しく又その積りでゐる

●水源擴張

給水能力五六十萬立方尺

京城水道の給水不足は近時使用者の激增に從ひて益々甚しく例年夏季に起るべき斷水が近來は寒暑共頻發し而も陽春四月の現今に於て既に

▲晝夜二回に 亙る斷水を見市民の困難は言ふも更なり衞生に火災に市民の蒙る打擊尠少ならず當局に於ても銳意茲に留意する所あり大正七年度豫算に京城水道擴張費十五萬圓を計上し仁川水道水源地より日々十萬立方尺の給水を受くる筈なるも該工事は未だ全部の完成を告ぐるに至らず今後極力其工を進むるも本年七月に至らざれば通水を觀る能はざるべしと而して今後に於ける

▲需給狀況 を數字の上より見るに現在京城水道の給水能力は一日約四十五萬立方尺にして最大限度として四十八萬立方尺餘の給水を爲し得るものなるを以つて仁川水道鷺梁津水源地の給水を受くる曉に於ても合計五十八萬立方尺內外に過ぎざれば三十萬人の市民に對し一人平均四立方尺の給水を爲すとしても合計百二十萬立方尺の水量を要する譯なり之の標準に比する時は仁川水道より十萬立方尺の給水を仰ぐも尙多大の懸隔あるを免れず而かも此の標準計算は內地のものにあらず母國統計に基く

▲平均給水 狀況なれるを以て當局に於ても京城市の將來に備へんが爲め種々善後策考究中也しが這般愈々鷺島に於ける水源池の大擴張を必要と認め之れが設計を行ふべしと而して其の內容は未だ發表の時機に達せざれども擴張區域は現在位置の西方にして其の給水能力五六十萬立方尺の程度ならむかと傳へらる

本紙定價 ▲一部金二錢 ▲一ヶ月金五十五錢 ▲三ヶ月金一圓六十錢 ▲六ヶ月前金三圓二十錢（郵稅共）
廣告料金 ▲七字詰一行 ▲五號活字 ▲四號活字
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話番號（編輯局 營業局）

視察を畢りて

▽在鮮實業家の奮起を望む

九州視察團副團長 吉田英三郞氏談

北九州各工場の盛況は想像以上であつたが我朝鮮より小麥、繭、木綿其他の工業原料を將來多々益々此地方に供給すべく在鮮實業家の奮起が望ましい麥酒原料として今尙外國麥を使はせしめて居るが如きは其一つで

▲遺憾至極の 感がある九州の地到る處で鮮とは歷史的の關係を有つて居る關係上朝鮮に對して可成富豐れ趣味を有つて居るもの朝鮮を研究せんとする者等豫想外に多數であるにも拘らず朝鮮の事情に精通して居る者が尠い社會上經濟上の紹介連絡の必要を痛切に感じた此點に於ても先づ第一に商業會議所の奮鬪を希望して止まない九州各地に於ける勞働者の不足は甚しく各工場共職工其他の勞働者を間斷なく募集してゐるが

▲鮮人勞働者 は機敏を缺ぐ點に於て餘り歡迎せられないが之に適當の方法で多少の訓練をした上供給したならば彼我得る處が尠くないと思ふ日豐豐肥久大各鐵道完成後の大分は門司と商業上の覇を爭ひ九州の中部以南の物資を吞吐するの情勢に立到り輸送上に大なる變化を見る可く一般豫想されて居るが我朝鮮に於ける貿易關係に於ける實業家は此等の關係を比較調査して後日に備ふるの用意が必要であらうと思ふ

●優良移民表彰

東洋拓殖會社京城支店に於ては昨年來不良移民の淘汰を實行して移民の廓正を企圖しつゝあるが移民として忠實に業務に從事し會社に對する義務を履行し更に鮮農に對しては模範を垂れ移民中の優良なる者は內規により表彰する事となり目下各出張所の上申に就き支店殖民課に於て詮衡中に付遠からず發表すべく表彰移民には農具等を賞與し何等かの方法により其の名譽を保持せしむる由

●日支運賃値上

日支周遊運賃

鮮滿鐵道會社にては日淸汽船會社の揚子江沿岸航路上海漢口間運賃日貨にて七圓七十錢値上實施の爲め日支周遊運賃を左の通り改正せり

驛	經路	一等（圓）	二等（圓）	三等（圓）
釜山	一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
釜山	二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
南大門	一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
南大門	二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁川	一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁川	二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平壤	一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平壤	二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鎭南浦	一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鎭南浦	二	[illegible]	[illegible]	[illegible]

因に（一）徑路は安奉線、京奉線、津浦線、滬寧線、下關釜山聯絡線經由（二）徑路は安奉線、京奉線、漢口、上海、下關、關釜聯絡線經由なり

●鐵道滯貨と運輸機關

滯貨問題に關しては餘程研究を要する事で滯貨々々と鐵道にばかり八釜敷く謂ふことは何うかと思はれる現在鮮鐵に於ては全線に亙つて一日約六千噸の貨物を輸送しつゝある而して汽鑵車の如きは

▲所定の能率 以上に運轉せられつゝあり現在鮮鐵が運轉しつゝある汽鑵車は百八十輛貨車千八百輛にして內一割は修繕中に屬すると見れば實際運用せらるゝ汽鑵車は百六十輛貨車一千六百輛と言はねばならぬ即ち此の滯貨を一掃し樣と思へば汽鑵車三十輛貨車二百輛位を增加する必要があると言はれてゐる鐵道側では過般來汽鑵車三臺の建造中だと聞くが汽鑵車は以前は一臺四萬圓位で出來たものだが當今では時局の影響を受けて

▲十二萬圓を 投ぜなければ出來ないと言ふ有樣になつてゐる、貨車の如きも滿鐵に屬するものにして鮮鐵に使用されてゐるのが大分あると言つた風で鐵道側では充分滯貨に關して焦慮し且つ之を一掃せんと努力しつゝある汽鑵車の如きは龍山工廠から一度出ると一週間位は歸つて來れない之れを以つて汽鑵車が如何に極度に運轉されて居るかが知れる、殊に昨今は京城仁川間の貨物輸送に十五日餘を要する之れでは遂に商機を逸すると言ふので大分不平を鳴らして居る商工業家もある樣で別に京仁間運送機關を設けたいと言つてる人もある相だけれども苟くも

▲運送すると 言ふ以上は矢張り陸運によるか水運に據らなければなるまい且つ又京仁間滯貨の數量も大したものではない之等の點から推すと別に運送機關を設けねばならぬ程の必要は毫も認められない即ち京仁間一ケ年の貨物數は京城に到着するもので五萬噸に過ぎない而かも京城到着貨物二千餘噸仁川に在りて一萬三千餘噸の內一萬噸以上は局用品で其れ以外の約四萬噸が市民に影響を有する貨物である即ち之を日割にすると一日平均百二十餘噸の貨物が到着して居る有樣である之を運輸する爲めに態々別に運送機關を設置すると言ふ事は採算上

▲到底不可能 の事に屬する況して右の貨物中其の滯貨に屬するものは幾何も無い、二三割と見ても三十六噸內外の滯貨であるから結局陸送にせよ又は漢江を利用する水運にせよ運送機關の設置は採算上引合はぬ事に歸する又機關と言ふ樣なものでなくて個人で京仁間十何里を運搬することも出來まい一噸の荷物を運ぶにも京仁間僅ほ三四日を費さなければならないではないか而して京仁間の主なる貨物は木材、石炭、セメント、金屬、石油、洋紙、鹽、煙草、米等であつて特別に急速を必要とするものは先づ無いとも謂はれる鐵道は

▲極めて公平 に之等の貨物を運送しつゝあるもので貨物の到着順に取扱つてゐる有樣だから此の點に就いて不平を言ふのは少しく妥當を缺くものではあるまいか（大平京城商議書記長談）

▽視察の效果を完うせん

同 鄭寅復氏談

▲今回の旅行 に於て痛切に感じたのは公會堂の設置である九州各地には相當の公會堂を有して居るが何れも年一日に狹隘を感じて居る京城に於ても此點を參酌して多少宏大に過ぐるとの評を受くる程度の設計が望ましい

▲圓滿な且つ 愉快な團體旅行は未だ嘗て經驗した事がない從來擧行された各種の觀光團視察團には忌はしい苦情事が多かつたやうに聞いて居たが這回の九州視察團の如く一行は雨の多い內地旅行の事とて雨のために苦しめられるであらうと豫期して居たにも拘らず一行が九州の地を踏むと同時に雨は上つて鹿兒島までは連日快晴續きであつたのは天祐と言はうか一行に取つては實に僥倖の至りであつた殊に面白かつたのは一行が鹿兒島に際して雨が降つても宜からうと言へば雨が降り歇んで欲しい久留米視察の一日は早朝から晴れそれから別府を出發するまでは再び晴天續で各地各方面に於て充分に

▲視察の目的 を遂し得たことは寧ろ奇蹟的の恩寵を授かつたとでも言ふべきであらう吾々は天に向つて感謝すると共に斯くまで惠まれる事の深い京城日報社に對しても感謝を捧げねばならぬ吾々は今回の旅行に依つて得たる智識を以て朝鮮開發の上に聊か貢獻する處あつて京城日報社が組織した視察團の使命を完うさせねばならぬと思ふ

●全南道勸業費

全南道地方豫算の內勸業費は三萬六千零五十一圓勸業棉作費（國庫補助）一萬四千百六十八圓計五萬零二百十九圓にて外に授產費四萬六千九百五十九圓なるが主なる費目は獸醫所費一萬一千百七十五圓種牛共進會費四千五百十六圓にて尙ほ傳習所費八千七百九十六圓漁業獎勵費四千七百三十五圓を計上したるが全部を合算すれば前年より幾分の減額を爲したり而して產業組合三個所森林組合八個所は新たに靈光郡法聖浦、莞島郡莞島、高興郡羅老島、濟州島濟州に面事業として簡易氣象信號を經營せしむる筈にて夫々補助金を交附すべし又た木浦府經營の牛皮乾燥場には本年度より技術員を定置し模範的の乾燥場たらしむべしと

●北鮮近海漁況

既に春季盛漁期に入れる淸津港沿岸漁業界の昨今は未曾有の閑散を呈し市場に陸揚げせらるゝものは鰊、鰈其他の雜魚等にして從漁業者の打擊少なからざるものあるが奧地に於ける需要は間島羅南方面に夥しく業者間に於ても其補給方法を講じつゝあるも昨今南鮮地方に於ける魚價も稀有の高値なる爲め到底此方面よりの供給も不可能なる由にて今後現狀を持續するに於ては同地附近の魚價は何程位に迄昂騰するや知るべからずと

●開城電氣總會

廿七日開業式の盛況

開城電氣會社にては豫報の如く二十七日第一普通學校に於て第二期株主總會を開き事業報告、決算報告を爲し次で監査役の改選を行ひたるが滿場一致を以て臼井水城金倧烱孔聖初の三氏重任し續て定款の改正を議し午後五時總會を終り後會社構內に官民の重なる者二百五十餘名を招待して開業式を擧げ夜に入りては點燈者六百餘名を明城座に招き活動寫眞を觀覽せしめたるが會社前には數千の老幼蝟集し殷賑を呈したり

▲增資決議 既報の如く開城電氣株式會社は本月一日より點燈を開始したるが其後の申込豫定以上に達し從來の資本にては不足を來したるを以て五萬圓一千株の增資を爲すことゝし二十七日の株主總會に於て滿場一致之を決したれば直ちに其筋の認可を申請する筈なりと而して新株に對しては舊株主に其持株に相當する株數丈の優先應募權を與へたりと（開城）

●忠南林野整理

忠南洪城郡瑞山郡は今回林野整理に著手すべきに付同地方在住者にして右兩郡に山林を有する者は五月三十日限り同郡面長へ申告を爲すべしと

●琿春鮮人觀察團

在琿春日本總領事館分館にては同地方に於ける資產信用名望ある朝鮮人二十名を撰び朝鮮各地の實際を視察研究せしむ可く朝鮮視察團を組織し一行は十八日琿春出發下汝坪より雄基、淸津、鏡城、羅南を經て五月七日元山に出で七日城著七泊の豫定なるが此間水原仁川を視察再び元山より北鮮を經て歸還すべく此の間の往復二十三日の豫定なるも途中天候其他の事情にて或は多少日程の變更は免れざる可しと

●島田通信課長歸京期

東上中の島田通信課長は公務を終りしも私用にて石川縣に歸省の筈に付五月十日頃歸任の豫定なりと

【群山】

▲白魚漁況 群山府名物錦江白魚漁撈は四月十日頃より沃溝郡熊浦附近に始り漁場は漸次下降し二十日前後より群山府江流に於て盛んに漁撈しつゝあり本年の從漁船は京畿十隻忠南十八隻全北十七隻其他十隻計五十六隻なるが漁撈は昨年に比し魚群稀薄の爲め稍や不漁の觀あれど魚價騰貴に因り漁業者の收獲は良好なりと

▲竹島の鯛漁 有名なる竹島の鯛漁は愈々五月五六日頃より開始する由なるが本年從漁船は熊本廣島其他及び群山を併せて約百七八十隻の見込にて諸物價の騰貴と內地出買船の活躍等に因り魚價の不廉は免かれざるべしと

▲廻米 三月の群山廻著米左の如し（汽車積二萬四千八十二石五斗水運玄米一千二百三十八石九斗、計一萬八千三百二十二石）

【木浦】

▲講演會 昨秋來支那方面視察の命を受け此程歸木したる勸業模範場木浦棉花支場長技師三原新三氏の視察講演會は廿五日午後七時より木浦公會堂にて開催せるが聽衆堂に滿ち盛會を極めたり

▲屎尿入札 木浦府屎尿及び塵芥は從來木浦衞生組合にて請負來りしが大正七年度より府直營となす爲め屎尿代を限り公入札に附する事となり廿五日橋本府尹立會の下に入札を行ひたり

▲部長視察 藤田全南警務部長は巡閱の途廿五日午後二時麗水より來木廿六日警備船第二扇海丸にて大黑山視察の爲め出張の筈なり

▲府協議員 木浦府協議員改任の結果木村健夫、高根信禮、藤森利兵衛、山野瀧三、金商燮、金永鶴の六氏再任し村上直助氏新任されたり

【大田】

▲農事講話會 石塚忠南道技師は二十四日午後一時より本町大淨寺に於て農事講習會を開催したるが多數の來聽者あり盛會なりき

▲苗木養成者增加 大田地方に於ける山林用苗木養成業者は鮮人合して二十七名に達し逐年增加しつゝありしが本年は種子缺乏の爲め其の補給は意外に縮少せられたりと

▲大田金融組合總會 大田金融組合總會を二十五日午後二時より同組合構內に於て開會事業報告及び大正七年度豫算其他を附議せり

人 と 事

▲淸水揚之助氏（淸水組員） 二十八日朝退京
▲秋山鈴太郞氏（元山電氣社長） 二十八日朝入京浦尾へ
▲木下林次郞氏（三菱社員） 二十八日朝退京
▲岡村左右松氏（朝鮮瓦斯取締役） 二十八日朝入京巴城部へ
▲澁谷太吉氏（漢湖農鐵大田支店長） 二十六日退京
▲各道長官 二十八日牛耳洞へ
▲渡邊高等法院長 二十八日水原へ
▲香椎源太郞氏（實業家） 二十七日夜退京
▲中村再造氏▲秋吉富太郞氏▲吉城梅藏氏▲竹田金次郞氏（實業家） 二十七日夜大連へ

酒前茶後

○歐戰萬能の、獨逸參謀本部の横暴跋扈は、最早其極度に達し、飽迄も獨帝の言に耳を假さず、ルーデンドルフは、反對せしも、獨帝は急激なる突進に激論あり、獨帝とルーデンドルフとの間に大に扞かれざるが如し

○今回の西部戰鬪開始前の如きも氣にかけず、帝の如きも眼中に國民を殺す事は、暫く捨る程に橫暴跋扈は、最早其極度に達し、大衆突進の自說實行を强唱し、遂に獨帝をして『獨逸よ、朕は獨逸皇帝なるぞ』と大喝せしむるに至れりと。されど戰線に於ては、依然としてルーデンドルフの意見の如く、多大の犧牲を物ともせず、戰は繼續せられつゝあり。

○事茲に至つては、流石の獨帝も、遂に如何ともなす能はざるものと見ね、激戰繼續の時の如き、自身心痛徹宵數夜に亙る事もありて、殊に損害程度の如きは、極力秘密となし、國民全般に對しては戰勝を裝はんが爲、每會戰に際しての苦心一方ならず、寧ろ同情に堪へず。

○之即ち因果の應報する處なりとは云へ、何時迄も斯る事の繼續すべきに非ず、やがて國民の覺醒と共に、必ずや禍亂の勃起せんは明にして、近時獨逸の內治に苦慮する處、蓋し大に故なきに非ざる也。

○米國の延屁觀察に曰く、獨逸の攻勢は、米兵百萬の戰場到達前に、英佛軍を兩斷するにあり。今や倒に攻勢失敗に臨し、徒らに犧牲を拂ふ。獨逸は此間何等かの手段を以て、講和に移るべし。獨逸が之に反して攻擊を續行せんとするも、獨國民は是れ以上の犧牲を拒絕せんと。蓋し其造ならんも、非併合無賠償の講和は、獨逸の耐へ得ざる處なるべく、共帝國主義者は、英佛に五百億の償金を課せんと言ふ。講和の實現は局面一變せずんば、當分望み無きが如く、米軍百萬の戰場に到達するは、其れ何れの日にあるか。其速かならん事を、切望せざるを得ざる也。

♣花の下より慰安會場を臨む
―牛耳洞に於ける讀者慰安觀花會―

京 牛耳洞へ!!

♣この日絶好の花見日和 讀者慰安觀櫻會
會場乘込みまで道中の賑はひ

◆汽車から 自動車から 人力車から
（牛耳洞へうじよく夥しい人の列）

春色麗かな二十八日の日曜日は牛耳洞と月尾島行きの觀櫻列車が臨時に運轉さるゝと言ふので早朝から南大門驛はゴツタ返しの雜踏である、牛耳洞加五里の櫻は

□此の日曜を名殘りと見込みをつけてか、發車の定刻前にさしもに廣い驛前の廣つ場も大波を打つて人の群れ、仁川行きが先きに出て終つた後から／＼と牛耳洞行きが押し寄するので驛員は全く目を廻してゐた、殊に本社では此の絶好の花見日和の牛耳洞で讀者慰安の大々的の趣向があるので是れに參加して一日の

花に浮かれやうと市內の吳服商、藥種商、麥酒會社、土地調査等團體になつて百人二百人位一とかたまりとなつて幾組も殺到してゐた、花のやうに扮飾した奧樣や令孃、妓書連中もなかなか多くお花見氣分を發揮するに十分であつた、是等の群衆が花見を誓いた十數輛の列車に悉く吸ひ込まれて第一回の列車が發車した後の驛頭は淋しい程靜かになつた、尚此の列車には管理局から安藤、井上の兩氏も乘り込む第二回の列車も

□相變らずの滿員で龍山驛からも可なりの乘客があつた、殊に當日は右の列車の外に自動車人力車や徒歩で牛耳洞さして急ぐもの夥しく其の他東大門行きの電車で其の方面の驛に待ち合した人々もなか／＼多く到る所全く花客が行列をなしてゐた

◆楊柳に沿うて 花の牛耳洞へ
（臨時列車はドレも／＼ギツシリの壽司詰め）

歡呼裡に南大門驛を發した牛耳洞行の臨時列車はドノ客車もドノ客車もギツシリの壽司詰め、却々足を伸ばす處も遑く乘込だものは

漢江の流れ、其の流れに沿うて煙る楊柳の綠、遙か彼方に紫に笑つて居る山々、煤けたやうな藁屋根の上を彩る桃の花など眼に映るもの丶總てが繪であり詩である『好い景色ですこと』『時々郊外に出るのも好ござんすね保養になりますよ』斯んな會話が婦連の間に交換される、汽車は龍山往十里、淸涼里あたりからも花見客を收容して十時四十分倉洞驛に著いた

◆艶やかな日傘 馬鹿囃子を先頭に 後から續くワイ／＼連
（牛耳洞乘り込みの賑はひ）

賑かな囃子、樂隊と歡びに躍る一千餘人の花見客を乘せた十餘輛の臨時列車が倉洞驛に著くと客

♣可愛い丸髷姿に

番の半玉十餘人が何れもサツポロビールの印を美しく染め出した艶でやかな日傘を翳して俥に乘つてヅラリと續き笛太鼓でドンチャン／＼と繰出せば汽車中で大分食し召した陽氣な人達が囃子につれて足拍子面白くソイ／＼と噪いで歩く、吳服商組合の連中も

♣これに加はつて

歩く、恁うして知らず知らずの間に牛耳洞に著くとサツポロビールを吐き出す煙花がポン／＼上つて鐵道が招待した各道長官一行を始め總督府の各部局長などの一行が自動車でやつて來たのを始めとして人力車自轉車で來た人は非常に多かつた

を見ると云ふ有樣である熟々車中を拜見に及ぶと鬚あり眼鏡あり丸髷あり無論少年少女の群も尠なくない、其面の異なる如く服裝も種々雜多だが何れも輕々しい扮裝如何にも花見らしい暢氣な氣分を漂はせて居る、汽車は日本晴れに一しほの磨きをかけて拗ひ取り度いやうな空の下を勇ましく驀進する

♣天女の帶の樣な

♣倉洞驛より牛耳洞への群衆

♣北漢山の直ぐ下

堰の切れた水のやうな勢ひで溢れ出て續く續く絲のやうに絡がつて烏帽子を立てたやうな北漢山の直ぐ下にある牛耳洞へと急ぐ、寫眞器を携へた人がある、鬱金木綿や、紅木綿で鉢巻をした道化者もある、藥種商組合の連中の紅白の襷を掛けたなど種々ある中にサツポロビール會社では十數人の馬鹿囃子の連中を先頭に立て丶各癸

◎武陵桃源の夢 を貪つて居る場合か什うか 永沼中將の講演
―多大の感動を惹る……

在郷軍人會京城龍山兩分會にては在郷軍人會理事永沼陸軍中將の入京を機とし二十八日午前九時半より南大門小學校に於て會員の爲め一場の講演を乞へり當日は古澤警務總長、高橋總督附武官、鰕澤警務部長、池內富永兩聯隊長、外多數の武官會員の來會を見たり永沼中將は鰕澤支部長の案內にて演壇に

△其巨軀を現はし

支部長の挨拶に次で徐ろに口を開いて『只今鰕澤支部長から聞きますれば朝鮮も春になつたさうで花に浮かれる人も多いでしようが現今の時勢が武陵桃源の夢を貪つてゐる場合か什うか』と先づ暗に本日の會員不參者を戒しめ次で時勢は自然の儘に打捨て置く可からざる事を回滿鮮各地を巡歷して

△在郷軍人狀況の視察

に當つて所期に反し甚だしく不振の狀態にあるを概嘆し內地の同會が良好の成績を擧げつゝある事を述べて會員の奮勵を促さんとて先づ其原因として第一會員の自覺及び其素質の向上第二に青年團の發達に刺戟されたる事第三に時局の關係等に就き諄々例證或は自己の見聞を擧げて說明し『滿洲では青年會の組織ある所も見たが

△足一步鴨綠江を渡つて

朝鮮へ來て見れば若干青年も居るであらうにそれらしいものも見ない』とて內地の青年會は非常な發達を爲し會員數百六十萬に達し本年五月迄に來る七十萬に達せん勢にあり來る五月全國青年會大會開催の計畫成り之等が在郷軍人會と相提携して活動せる狀態を說明し或は又吾人が一步國外に出づれば國の威力の認められざるを歎き『事業家も

△仕事が出來ぬと

云つてゐる、自分も長春以北の汽車には乘り度くないと思つた、支那人は日本人など眼中にない有樣だ』とて北部滿洲より西伯利の現狀に言及し滿蒙の强き所以より日本は將來に於て今日の獨逸以上の國難を覺悟せざる可からざるを述べ在郷軍人會に下されし『朕國防の完備は在郷軍人會の發達に俟つ事大

△在郷軍人會發達

なり』の勅語の御精神を了解せしめ努力せん事を希望し約一時間半に亙り議論よりも實例を擧げての講演は多大の感動を惹けり

◎永沼中將の講演 在郷軍人會講演會に於て

◎父娘を虐ぐ
―娘は牧師からも辱めらる―

崎縣北彼杵郡高島村松本きち（一七）は昨年六月頃より同村村下隆次なる者と道ならぬ關係を結べるより隆次の父は兩人を夫婦たらしめんと仲介人を以て貰ひ受けの相談を爲したるにきちの父九八（五〇）は耶蘇舊教の信者にて宗教の儀式に基き牧師の許可を得可しとて同村の牧師內山敏治郎に旨を通じたるに敏治郎は隆次が舊教信者に非ざるより是れを拒絕したるより破談となりしかばきちは潛かに家出して隆次と同棲し居りしを父九八はきちを連れ還り麻繩にて足を縛して吊し監禁したる事及び牧師はきちの身體に異狀ありと稱して辱めを加へたる事發覺したる事件は今回長崎地方裁判所公判に移されたり（長崎電報）

◎春季種痘日割

京城本町警察署管內にて左記の日割にて春季種痘を施行す

四月二十九日（南大門外町內集合所）吉野町一二三丁目、古市町、御成町、南大門通四五丁目、蓬萊町一二三四丁目、和泉町、南米倉町、北米倉町、太平通一丁目、長州通一二丁目、中林洞、蛤洞、洪洞、西界洞內地人▲四月三十日（同上）同上朝鮮人▲五月日（？）旭町二丁目、南山町一二三丁目、本町一二三丁目、南大門通一二三丁目、長谷川町、西小門町、大平通一丁目、黄金町一二三丁目、武橋町、貞洞、茶屋町、三角町、水下町、水標町、長橋町、鍾路町、日出町、倭城臺町、永樂町一丁目、明治町一二丁目內地人▲五月二日（浪花館）同上朝鮮人▲五月三日（稻荷座）黄金町四五六七丁目、永樂町二丁目、若草町、櫻井町一二丁目、新町、大和町一二三丁目、西四軒町、東四軒町、並木町、初音町、光熙町二丁目、花園町、岡山町、舟橋町、笠井町、林町、本町四五丁目內地人▲五月四日（同上）上朝鮮人

讀者文藝（一等に五十錢）（の肖像券を呈す）

△俗謠『茶屋』
◎裏と表の心も茶屋の世辭も見ねすぐつ簾張り（一等） 京城 村雨夜之助
△晴茶屋から櫻のたより書いたそのふみやな文字 安河 蹈花
△春の海ゆく白帆をすぐに手にもされそな茶屋 京城 角恩坊
△花の天井に前には淸水如美くし花見茶屋 ［illegible］ 扇子
△隱くす姿が隱れた花かれと姿の茶屋ちややら 仁川 矢谷 花翁

灯ともし頃

▲祭鷄では自らも許し鶏鶏法を述べさせると二時間も立續けに論辯する隣の秀長部近鷄の方は如何ですかと問はれたら流石に顏をして何んにも聞はぬので內々探つて見ると▲先夜大佐中佐から記念として貰つた大切な鷄八羽を初め自分の愛鷄二羽合計十羽をイタチにやられおまけに最近羽虫が跋扈して愛鷄既に四十何羽を留々な日に逢はしたので▲錦祇はヤツキとなつて捨餅巻でイタチ退治を行るやら鷄小屋に衛生施設を行ふやらで徹夜徹行大奮闘をしたが総て効を奏せず鷄悉くバタ／＼斃れたので結論に於て發見したのは見合はせる事にしたのであるさうな▲今度京城では常備消防手に英語を教へる事になつた其の理由は機械の名稱や取扱上の術語が皆り語になつて居て之を一々日本語に譯する面倒だからだ相な▲既に一兩日前から教授を始めて居る相だが一時間夢中に飛び込み旬日二十時間の部で恰度エーピーシーの最中であるが何れもナカ／＼の熱心此分なら上達は案外早からうと云ふ事である

▲立ちん坊の憂日

▲二千圓の詐取 全南潭陽……を借用名義に騙取して逃亡し爾來……釜山西町二丁目桑原方日本勸業債……▲……の內縁の妻……所在不明となりゐたりしが此の程……勞勸務員若山安次（□三）……（釜山特電）

◎加平の山火事 京畿道加平郡北面華岳里の雞龍山より十六……

◎鬱陵島學校組合 慶北鬱陵島學校組合に於ける大正七年度豫算は四千七百九十四圓にして……業……に依る營業割千六百六十五圓

♣毎週ポンチ 新細君氣質＝助太郎畫＝

◎衣更への季節が近づいたので、細君氣が氣でなくとう／＼亭主を說破して、夫婦分同一值段のを新調する事を條件として買物に出かけました。

◎春の本町はどこの店でも粧をこらして客を待つてゐた、細君頭の物も洋傘も下駄も欲しいが亭主との約束があるから、ショウウインドの前は目を瞑ぶつて吳服屋に入つた。

◎夫君の品を最初見立てる筈だつたが、女物を陳列してある方が早く目に止まつたもう矢も楯もたまらない、あちらの柄こちらの縞値段の事などは念頭にない、此處物も着て、あの下駄をはいて、あの帶をしめて、あの傘をさして、サーしまつた去年の傘は大分古くなつて、とてもさして行かれない、幸ひ此の店には洋傘も賣つて居るからと早速御意に召したのを整へた迄はよかつたが、いざ支拂の段となつて初めて買ひ過ぎた事に氣が附いたが後の祭り、何さかなだらうさ其店を出た。

◎お金は調ふる迄もなく五分の一しか殘つてゐない、思案に餘つた細君は猫中晩かしい思いで古着屋の門もくゞつたが、氣に入つたのがなくとう／＼安物で見掛のよいものを買つて歸つた。

◎細君早速夫君に品物を見せて『あなた反物は割合に安いですよ、あなたのもの私のも買つて參りましたよ』は大出來。

□讀者文藝課題及び募集規定

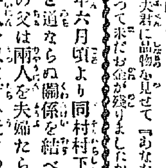
□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲一等には五十錢書籍券を呈す▲賞品は……

石油發動機八馬力 東京池貝壹臺
ポンプ セントル、ヒユゲル 口徑 拾二吋 壹臺 ベンドーブトバルブ共
鐵管貳拾五尺
右割安賣却來談願上候
京城南大門通五丁目 器械材料商 中村幸商店 電話二三五番

飲むと丈夫になり血と肉となる
ヘモクロビン

森田醫學士發見 僞物あり商標に御注意
血液の主成分なる本品が身體及神經の衰弱に絕大なる効果あるは世の既に定評あり
貧血諸症神經衰弱産前産後病後回復期等に卓効有効論健康者も速に用ひよ元氣を旺盛にし體力を增す
各地藥舖食料品店にて販賣（說明書進呈）
代價 エキス製一個金一圓卅錢 錠劑小金一圓卅五錢 大金二圓卅五錢
發賣元 東京日本橋吳服町 大塚球造 振替東京三七二五 電話本局四六三〇

看護婦募集
規則書御申越次第送る
京城より當地迄旅費支給す
大連市西公園町三六電話三〇八
遼東看護婦會

高評嘖々如 が し

平人印
萬年筆 ケース 小川式萬年筆
定價 A一號 五十錢 A二號 卅五錢 A三號 廿錢
A一號は實用向 インキ留裝置
ケース インキ 金廿五錢 各料八錢
郵券一割増送料二錢
東京芝區佐久間町二の十二 發賣元 土谷製作所 振替東京四〇八六〇番
御最寄の文具店にあり品切の節は振替東京四〇八六〇番へ御申込あれ

京城대齒科 は 本町一丁目江戸川横 岡本齒科醫院

▲双眼鏡▼
◎十五形六枚玉 金十二圓
◎十三形六枚玉 金十一圓
送料鮮內十二錢 外三十錢
右僅少荷著至急御下命願上候
京城太平通電話構內一八番 京城日報社代理部 振替京城三〇番

尾
大阪市北區天神橋筋一丁目
荒物 雜貨 卸商
團扇
西垣重之助
電話 東 一八九七番
振替口座大阪二八一九番

外科花柳病 內科婦人病 入院隨意
醫學士 齋藤勇
醫士 齋藤豐次
京城本町五丁目稻荷座前 電話二〇一二番
大和病院

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
朝鮮銀行
京城 電話 振替貯金口座 京城三三三番
支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、新義州、會寧、羅南、安東縣、奉天、大連、靑島、長春、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、公主嶺
出張所 傅家甸、開原、四平街、龍井村、鄭家屯
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

眼科專門
京城若草町（新設道路中程） 電一五五六
金井眼科醫院
新築落成◎入院隨意◎日曜祭日午前中

ヨシトクタビ

特約販賣店ヲ募集ス規程書送呈
實用新案第四四一九四
ヨシトク外縫足袋
◎本品は草鞋掛用外縫足袋ニシテ從來ノモノト異リ後部ニ特異ナル働キヲ備ヘ勞働足袋ノ通患タル踵部ノ磨滅モ補修洗濯共容易ニシテ砂礫土片ノ其中ニ入ル事ナク鑛山農業旅行運動勞働用トシテ大好評ヲ博セリ
◎見本一足七十五錢（税不要）卸賣五足以上代金引換ニテ送ル特約販賣御希望ノ向ハ御一報ヲ乞フ
◎各種足袋在庫豊富（營業案內進呈）
德島市福島港
ヨシトク足袋製造元
德島足袋株式會社 振替大阪三六二九二番

產科 婦人科
京城壽町 電話一二〇一番
一宮醫院
醫學士 一宮亮

…採集方に行き僞造した借用證…調べ中…書に僞造したる印章を押捺し採…の名義を詐稱したるものを示し…の使なりと詐稱して現金三千圓…

◎夫の放蕩より 妻投身せんとす

…り人生を悲觀し二十七日午後十一時半頃南濱より投身せんとしたる處を助けられたるがかつよば前日より決意し同所を彷徨ひ居たるなり

…日午後一時頃發火三晝夜燃え續き二千餘町歩の立木二萬七千餘本を燒きて十八日午後六時半頃鎭火せり損害約二百三十圓なりと

…なるものを擧ぐれば事務所費四百…六十二圓、鬱陵島公立小學校費二…千三百二十圓、台霞公立小學校費七…九百九十九圓等なるが戶別割一戶平均負擔額は二圓強にして聞に漁…二度…計豫算は經常臨時の兩部を合せ…千四百餘圓にして六年度の一千…百餘圓に比し四千七百六十餘圓の增加なり

▲偶は付「見えないものは」　廿九日 三十日
▲冠五月嬢さかけて「ケ」　三十日 一日
▲一口噺　時事　一日 二日
▲下句付「浮き沈み」　二日 三日
▲折めみ　三日 四日
▲狩讀逃　四日 五日

…よる事總て一種二句以內の事…表後一週間以內に到着又は同案發…見通告者には五十錢書籍券を呈す…但何番何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

◉大同江源の 人外境（下）

大木を穿拔いた煙突と樋　獐の皮張りと兎の脚の引き手

火田民は火田の爲に山を崩す樣な目に遇つても、それを不思議に思つてゐない。現に此の慘害に合つた二人の老夫婦は川の眞ん中の砂洲に家を造つて住んでゐるから、水が出たら如何するかと問へば山に上るまでだ」と平氣で答へた、眞に森林の價値も知らざれば火田の弊も覺つて居らぬ其れは其等內地人の足跡を印する年に一度か二度憲兵補助員の如きも六箇月に一回か一年に一回しか來ないところだものを……然らば此邊の土民は如何にして暮してゐるかと云ふに家は楢の木の太さ一二尺もあらんかとも思はるゝ大きな木を立て藤蔓で縛り合はせ家の內部は甕く二尺三尺もある丸太を積み重ね屋根は石を載せ或は草を覆ひたる等實に太古の面影を有してゐる

◆それでも溫突が あつて其の煙突と言へば二丈餘の丸太を縱に切つて中を穿り拔き縛り合せて眞つ直ぐに軒を突拔いて立てゐる漬物桶と云へば廻り五尺もあらむとも思はるゝ長さ五尺乃至三尺位の丸木を穿り拔き底を作り蓋を爲し其中に漬物を漬てゐる一寸財產家と思ふ樣な家には七八本もある溫突の入口に獐の毛皮を貼り付けて風の侵入を防ぎ引手には獐や兎の足を付けてゐる又た門札を打付くる釘のなき爲めか隙の竪で札を吊り又た

◆獐の角を鳶口に 代用する等實に原始的の風が充ち滿ちてゐる冬期は男女とも毛皮の靴に毛皮の衣や袴を著し雪馬と云つて橇に乘つて山に分入つて獐獵をする食物は稗、黍、粟、蕎麥、馬鈴薯及び木の根を用ゐ居れるも就中く蕎麥と馬鈴薯を最も多く食し蕎麥の味又た美にして多くは馬鈴薯より採取したる澱粉を混用してゐるが粘力に富んで味は殊の外に好い而して斯んな原始的生活をしてゐるに拘はらず

◆蕎麥製造機械を 何處の家にも備へ付けてあるのが面白い處で家といふも隣へ行くのには何町と隔つてゐて中には一町も行かなければ人家を見出さぬ事もある要するに蕎麥を打つ機械を備へてゐるのも斯んな不便な爲めに備へてあるのであらう而して是等の土民は未だ曾て砂糖を味ひたるもの少なく

◆偶に砂糖を味た 事のある者は其味の美に驚愕するとの事である財產家では蜜蜂を飼養してゐる。用水を汲むのは丸木を穿り拔いた桶を背負ひ谷を下り汲んで來て山に上るのであるが、水が無くなれば又十數町の山を降りて汲みに行く、一向勞力を厭はぬ、實に質素にして其純朴なる太古の民の如く別に娛樂も無ければ一家團欒して蕎麥を食ふのが關の山である併し子供の繁殖力は極めて旺盛であつて一家大抵六七名の子女を有してゐる

◆子供の遊戲道も 只火田にゴロ〳〵と土をいぢくる位、金錢で物を買ふと云ふことは餘りしない大抵は物々交換であるから平壤あたりでは米の値が廿八圓を突破して社會の生活難は日一日に增して行く今日此くの如き樂天的の鄕土があらうとは誰も氣付かぬ所であらう(永坡)

九州視察團畫報

耶馬溪羅漢寺前に於ける團員

◉興味ある北滿材の研究

時局に制せられて需給狀態一變す

◇望手の多き事　筏一枚に廿人　▲而かも昨年より六割高にて▲

時局の爲め北滿材の搬出困難となりし一昨年以來吉林材は多少世人の注目する處となり相當の投資者もあり昨秋より今春に涉り冬出しの報じ置きたるが建築用材も例年に比し未曾有の成績を擧げしは屢々報じたる如く又此北滿材をせし模樣にて日支人材木通の諸ゐ想像に因れば今夏中に當地へ流筏すべき見込大約二百萬八〆にして其の種類左の如し

白松赤松長條（長二丈五尺末口八寸より尺三寸）同二呼頭（長一丈五尺末口尺三寸より尺六）同大高梁（長二丈五尺末口尺六以上）同改木（長一丈五尺末口二尺以上）

以上每年四月末日頃より著筏するを常とせるに本年は解氷の早きに伴ひ旬日程前より瑕々新材取引されつゝあり然れども更に十日以上を經ざれば實際の相場は知り難きもの、如く現今にては買手のみ多く一枚の筏に望人二十人に及ぶことあり而て値段も甚だ突飛にて所謂走り値とも言ふ可く凡左の通りにて之を昨年に比しては六割內外の高値なり大正七年四月廿日白、赤松尺五尺六二寸五尺もの尺〆金五圓五十錢より金七圓六十錢のもの六年四月廿日には金二圓四十錢より四圓八十錢、尙ほ此外に拌子と稱し新材の長七尺末口五六寸より尺迄の雜木は每年六十萬本以上伐出し得るもの之れ亦昨年に比しては五割以上の市價を示し居れり吉村燐寸會社の殆ど獨專的に年々流の白楊採伐は本年は其の步を進めつゝある松花江上

未曾有の成績にて

自家の需要を充たし殘餘を神戶に輸出せる等あり最も時局に制せられて烏蘇里方面の白楊は浦鹽への集中を困難ならしめしに因るべけれど消息通の言に依れば吉林白楊の神戶に於ける市價比較大約左の如きものなりと（單位圓）

產地	價格	運賃	著値
北海道	三三〇	五七〇	九〇〇
浦鹽	四五〇	三八〇	八三〇
吉林	二七〇	五四〇	八一〇
安東	三四〇	四一〇	七五〇

而して吉林を中心とし將來白楊樹の採伐が何程の價値あるかは一步を進めて森林調查を必要とす（未完）

▲何事か畫せんとする ▲トマ子フスキー少將▲

ハバロフスク駐屯哥薩克軍參謀長ヤテミヤ、トマネフスキー少將は夫人及び副官アンドリシン大尉カイセノフ中尉を隨へ二十四日大連著大和ホテルに投宿二十六日大連發禰丸にて青島に向け出發せり一行は三月初めてハバロフスクより哈爾賓に移轉し哈爾賓滿洲里間に往復し或る計畫中なりし處近來過激派の壓迫愈々甚だしき爲め一先づ哈爾賓を引揚げ來れるが少將一行は上海にて英佛人の有力なる者を訪問し露國民の現狀を愬へ其の同情と後援とを得たる後日本に渡り永らく心勞の結果神經疲勞に陷れるを以て日本の山水風光の地に轉地し心身を靜養する豫定なりと同少將は日露戰役當時には中佐にてアレキシェーフ將軍麾下の課將として奉天會戰の際は獨立せる一支隊長として我が最左翼卽ち乃木將軍と戰ひ露全軍潰走に際しては最も勇敢に殿戰せる人にて今回の大戰にはガリシヤ方面に於て勇戰し退却せる味方の中にて何時も踏止りて奮戰せるを以て孤軍屢々重圍の中に陷り將に捕虜にならんとせし事數回ありたりとの事なり少將は又ホルワット將軍及びセミョノフ將軍とは別懇の間柄なるが露國の現狀に憤慨し憂國の至誠を籠めたる檄文を作成し各處に於て露國人の間に頒布し居れり（大連）

粗惡なる食料に ◆慣れ且つ此の種作物の豐富◆

…玉蜀黍、馬鈴薯の如き…なるに係るならんか殊に教育の狀況に於ては西鮮は南鮮に比し著しく進步發達せる事實を見認せり南鮮に於ては今尙極めて尠く普通學校の如きすら甚だ尠く生徒二百名以上收容せる學校は一道の內僅に指を屈する位なるが西朝鮮卽ち平安南道の如きは至るところ普通學校を設置し且つ生徒二百名以上を收容する學校の如き敢て珍らしからず且つ又た斷髮者の數甚だ多く青年の結髮者を見るが如き

南鮮より來れる予の ◆目には驚く奇異に感ずる位◆

なりコハ全く耶蘇教宣傳の關係に基因するところならんとも思はるゝが更に國語普及狀況に徵するも此等同化の傾向は僅に西鮮の方進步し居れりと云ふべし

◉南鮮と西鮮と 相違せる諸點（上）

平南憲兵隊長 服部憲兵大佐談

總督府務部長より平南警務部長に轉任したる服部憲兵大佐は着任匆々元山に出張し平元間の交通經濟警察其他一般の行政に就き視察調查する所ありしが其後席の溫まるを待たず管內陽德分遣所駐在所に至るまで殘なく巡視し僅に晤安藤を殘すのみなるが記者は廿六日部長室に大佐を訪問し管內の狀況に就き左の如き談話を聞けり

今回は二十四日江西飯山溪川を視察し二十五日は永柔に一泊し二十六日永柔より肅川に出で只今歸任したる所なり私が赴任前西鮮の地は南鮮に比して細民多く一般の生活狀態貧弱なりとの話を聞き居りしが赴任以來各地を視察したる所に依れば

西鮮は南鮮に比し ◆細民の割合尠きものゝ如く◆

現に巡查補補助員等にして其父兄家族の小作農を爲すもの極めて尠く大抵は自作農業にして其生活の比較的富裕なる又巡查補補助員等の缺に依るも其受持區內の細民にして生活上甚しく困窮せるものを見ずと聞けるが南鮮は之に反し小作農最も多く物價の低廉なるに拘はらず細民多く生活上困難せる者甚だ多きを認めたり如何なる理由に依るや未だ日尙淺くして其理由を知り能はざるも要するに西鮮地方の一帶に景氣良き證徵と見らるべく一面に土稷、粟、粟…

◎奉省と鮮銀 ◆三百萬圓の借款成立◆

朝鮮銀行對奉天財政廳借款は此の程鮮銀滿洲總支配人大田理事と財政廳長との間に調印を了り二十四日を以て鮮銀奉天支店に於て借款全額三百萬圓の交付を終了したり、該借款の用途は東三省官銀號整理資金に充當すべく以て近來甚だ信用を失墜せる同銀行發換券の基礎を確立すべく借款は手取九十五圓利子年六朱五厘償還期限を三箇年とす鮮銀の對奉天借款は前回各一百萬元とを合し五百萬圓と成れり奉天財政廳にては一時借款全額を鮮銀奉天支店に預入を以て直ちに兌換の整理を行ひ漸し此の內約三分の一卽ち一百萬元を必要に應じ兌換を行ひ其の信用を恢復すると同時に銀號事務の改善を行ふ筈なり而して此の借款は一の幣制整理借款と見る事を得べく彼我の爲め最も其の意を得たるものなりと（大連）

◎一雨ごとに 蕾み萌く好き季節となつた

◇春漸く暮 んとし一雨每に大地は潤うて種子蒔きの季節に入つた、三月中旬蒔いた草花で四月初旬に開花するのは美女撫子と日日草である、壽命は六月まで、五月からの花には天神菊、百日草、千日草など半年の命を持つた菊花の群、薄桃色の石竹に絲撫子、或は香り高いカーネーション、黃色い十字の花菱草ケマン草等である

◇そよ風にも 緋の鮮な靡くは罌粟やフロックスは纖弱くて六月には衰へる、花菱草は七月迄、鳳仙花は七八月の炎暑と競ひ…ゴールデンフイザー、ルドベキヤ、萬壽菊、紅蜀葵、…

大豆滿貨數（自支前線）			
松花江	一〇〇〇〇	哈爾賓	八五五〇
安達	五四六〇二	對青山	一二二一九
烏吉密河	一〇五〇〇	外各驛	九五八九
計	三五八七〇八噸		

◇美しい花 を仕立てるには先づ畑を鍬で深く耕し細かく土を割り油糟を施し上より柔かい土を薄くかけ二三日して肥料の腐敗するを待つて種子を蒔くのである、さうして種子の少量の時は砂を交せ一撮り位にして萬遍なく蒔き草の名を記した木札を立てる、小さな種子は蒔いた儘で宜いが大粒は薄く土をかけると其次に如露を以て水を與へ而して柔かき藁を薄く…ふのである、發芽はそれより一週間後に三葉位現はせば二寸位の間隔に移植し水を以て薄く溶せし油糟を橫より施し更に其後蕾を持つまで三回位移植の必要がある

◇高價の花 …に穴のある蓋附の鉢に土と砂を等分に交合せし中へ蒔き永盤に漬け日陰に於て水分が下より吸込ますのが最も好成績を得るさうだ…（永坡）

麥作　慶南 馬山

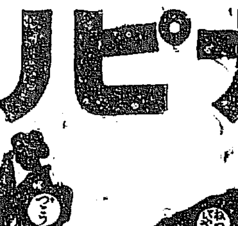
春季に入り降雨ありし爲め順調に發育し一時前途を氣遣はれたるも此分なれば豐稔ならん（馬山）

かぜ ねつに 一番よくきく キナピリン

◎キナピリンは◎感冒◎熱病◎頭痛◎インフルエンザ◎リウマチス◎間歇熱（マラリヤ）等に大効あり

大阪市堂島元蜆橋 本舖 高橋盛大堂藥局　同 心齋橋博勞町 發賣 高橋盛大堂分店　◎各地到る處の藥店に販賣す

（目錄進呈）



山葉、鈴木製樂器代理店 各樂器 御小賣 セヤマ樂器店 京城本町二 振替京城五二一五番

飲み初めたら 永久にやめられぬ 一番おいしい葡萄酒

◎蛇の目印ポートワイン

逞しき筋骨・整頓せる体軀・活々たる顏色 これらの健康美は凡て愛飲家の獨占なり

全國到る處の和洋酒食料店及藥店に販賣せり

定價壹瓶金七十五錢

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

越智唯七編纂　司法大臣松室致閣下題字　京城地方法院所屬辯護士法學士加古貞太郎先生序文　前韓國財政顧問附財務官小笠原寬先生序文

大正七年一月一日現在 正誤表附 總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵稅十八錢

本書は府郡廢合の整理と旣に終了したる土地調查局の調查により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるもの一目瞭然にして道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日、鮮、清、西歷の詳細なる對照年號を示し管區數、人口、戶數、道路里數、各道の廣袤、交通、產物名稱、舊跡、溫泉其他の概況を掲げ本書は官廳執務上を初め政治家、實業家、學者、交通、產業其の他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺くべからさるの必携書なり

□發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

朝鮮總督府裁判所通譯生 井山之麟治氏二大著書

在鮮人士の必須缺くべからざる二大珍書

鮮文 普通文官應試提要　定價七拾錢 送料六錢

評判任文官試驗に應ずる…二版四版 第七版 定

鮮文鮮語法律上悉く網羅唯一

朝鮮古書熟字俗字通慣習風俗志 朝鮮　定價五拾五錢 送料六錢 四六版裝幀清爽和裝紙質極上參百餘頁

一手販賣所 京城太平通 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

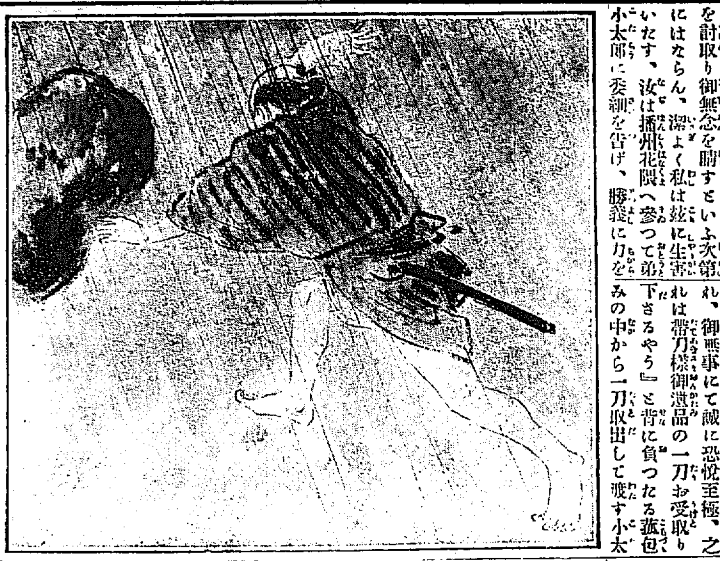
塚原卜傳

悟軒道玉口演圓

第五十九席

秋山伴作は涙を拭ひ　伴『其時大殿様は頗る御勇戰をなされ彈正左衛門を斬つて共に最期をなさんと遊ばせしも、何分敵は十分の用意あり、此方は突如の事なれば、終に大殿様は卑怯なる敵の打つたる鐵砲にて御落命遊ばしました、私は御首級を頂き、塚原へ立歸りまして、帶刀様へ委細言上いたせし所帶刀様の仰せられるには、多病の身中々父の志を繼で彈正左衛門を討取り御無念を晴すといふ次第にはならん、潔よく私は玆に生害いたす、汝は播州花隈へ參つて弟小太郎に委細を告げ、勝義に力を添へ彈正左衛門を討取り、父上の御無念を晴し、且つ私が怨みを報ひて呉れるやうにと細々に仰せられましてございます、又忌は兄の遺品と勝丞へ遣はし呉ろと、栗田口國綱の御刀をお手づからお渡しに相成りました、委細承知はいたしましたが、兎に角一旦御立退きになるやうにとお勸め申上げましたれど、何分にもお聞入れなく、此方一人立退けと強ての仰せ、已むを得ず私は塚原を立退く、間もなく彈正左衛門の討手の兵が塚原へ押寄せまして、痛ましくも帶刀様は終に城を枕にお討死を遊ばしました様子、私は夫より花隈へ參りました所貴下様は既に御歸國との事、取急いで取り返す途中、小田原の宿、圖らずも若殿様は捕はれて石牢へ打込れしといふ事を承はりどうかしてお救ひ申上げんと存じましたが何分にも私一人では致方もございません、幸ひ伊豆の眞鍋に父の礒右衛門が居りますから是へ參つて和談、父も大きに驚き、早速小田原城内へ參つて、小太郎様をお救ひ申せ、就ては弟の熊吉力量人に勝れて居れば共に連れるやうにとの事、ソコで此者を伴れましてございます、城内の様子も兼て親父が詳しく存じて居りますゆゑ、細かに教へ呉れ大きに便宜を得ました何はともあれ、御無事にて誠に恐悦至極、之れは帶刀様御遺品の一刀お受取り下さるやう』と背に負つたる菰包みの中から一刀取出して渡す小太郎涙ながらに受取り、齒を喰縛つて『小倩々憎くい奴は佐竹彈正左衛門、又驚き入つたるは山城守殿の活斷なりおのれ遺からずして父兄の恨みを晴さずには置かぬ、何にいたせ其方兄弟の忠義生々世々忘却はいたさん嬉しく思ふぞ、伴『何は措少しも早く此所お立退遊ばすやう　小『心得たり』と彼の栗田口國綱の一刀を腰に帶し、主從三人兎も角も此所を立去らんとする此時向ふに番小屋がある此に牢番の仲間が居たが何をいふにも恐ろしき大風雨、大きな木がガラ／＼ボキリ／＼と風のために吹折られて飛散る有様、生きたる心地もなく五三人小屋の中に縮まつて慄へて居りましたが熊吉が牢格子を打破るを大方松の大木でも呼折れたものと別に怪しみもせずどうかが早く鎭つて呉れゝば宜いと考へて居た、其の中風も少しく止む

『ア、漸々靜かになつた』とヒョイと一人の仲間が小屋の外へ顏を出して見ると向ふの牢の前で二三人の話聲『○ハテナ誰か彼所に居るが合點の往かねえ事だ、オイオイ早く皆な來な、必定曲者に違ひねい早く出て取捕まへろ』と呼出つて五六人の仲間バカ／＼と其れへ出て來た、熊吉之れを見るより早く『さては木葉野郎が邪魔をすると見ゆる、其儀なれば』と矢庭に投捨てたる大石に手を懸けると目よりも高く差上げ、エイッと一喝叫ぶとひとしく番小屋を目懸けて投付けた、ガラ／＼ガラと番小屋は微塵に打毀れ、五六人の仲間は手足を碎かれ即死を遂げた、實に凄まじき大力なる熊吉



暦

四月三十日九星
舊三月二十日丁未
本命二黒坤平佛滅

▲二黒● 手の組む事有日新事見合東方は吉晦
▲三碧● 押付け主義の事有日新事手控
婚事に青婦人相談を忌む▲四緑● はんまな事有日新事手控へ依頼事は妨なし▲五黄● 不作法の事有日新事手控へ旅事は吉女子は行儀を守るべし▲六白● 製造を得る日轉居行商入學名弘め船求職金談婚禮試驗を受る事萬吉▲七赤● 〆括よき日轉居行商金件名弘入學神詣出漁移轉組物商會皆吉▲八白● 安受合の事有日新事手控へ旅事は吉約束に用心せらるべし▲九紫● 破活の日轉居行商入門名弘求職金談嫁娶入定期取り等萬吉▲一白● 色情の縺れ失物用心の日新事手控へ旅事は妨なし

ちゞれ毛

髮の結へない恥かしいチヾレ毛がキレイに直る元素を不思議な物から發見しました此元素は髮を出しやわらかく艶々コクして其上に薄毛をキツトチヾレドンナ難癖なチヾレ毛でも直りますつたら二度と直なつた毛はスグまた縮れませんクセ毛なども直ります [illegible] 人の禮状も毎日參ります [illegible] 人はハガキを下さい人助けに

美髮無代進呈

東京淺草山ノ宿町五十一　丁巳堂

家傳 淋病梅毒咳嗽 治療

日本肥前佐世保市上京町三八　杉森醫院　院主

醫士 杉森玄益（十代）

質

黄金町長橋町入口　電話二九一六番

田村質店

商品擔保便利取扱

演藝案内

浪花館　明治町二丁目　電話二六○番

○京阪落語發喜和會一行　△四月十七日より開演　今回入城到る處大好評を博せし落語發喜和會一行若手揃ひ大一座 [illegible] 何卒賑々敷御來場 [illegible]

▲落語（しん玉）▲滑稽掛合（誑廿）▲落語手踊（圓彌）▲ものまね顏藝（遊窓）▲落語手踊（歌之助）▲落語（しん鋭）▲少年落語音曲手踊（小治）▲中入 當一派十八番の電氣應用所作事 寄獅子 ▲落語音曲（花丸）▲落語手踊（木鶴）▲大切喜劇

有樂館　電話（階上）五七番（階下）二○五番

東洋ユニヴァーサル會社特約 活動寫眞常設館　當る四月廿五日より公開特別大寫眞 [illegible]

○舊劇『國定忠次』全六巻 [illegible]
○新派悲劇『路』[illegible]
○戰場哀話『召集令』全三巻 [illegible]
▲人情活劇『母の愛』[illegible]
▲新派事情大悲劇『殘る母娘』[illegible]

黄金舘　電話二三六七・三六六

大阪色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店 [illegible]

稻荷座　下町五丁目　電話二參二八

浪界壯年泰斗桃中軒雲太郎來る [illegible]

大正館　櫻井町　電話八七三

活動寫眞株式會社朝鮮代理店 [illegible]

『鬼丸花太郎』全五巻 [illegible]
泰西大活劇『明光』八千呎 [illegible]
新派大悲劇『藝者一代』全五巻 [illegible]

處方を公開し責任を明かにせる本邦唯一の

ミツワ家庭藥

ミツワ家庭藥は内容を祕して徒らに萬能を說くが如き賣藥にあらず

▲内容の祕してある藥を安心して用ひられるか▼

如何なる藥を如何なる分量で調合してあるか分らず隨て責任を明かにせぬ賣藥は如何程効能を吹立てても決して安心して用ひられない。然るにミツワ家庭藥のみは文明的に處方を公開するだけに其處方は無論的確で、一々說明書を添へて、内容の藥の名稱と分量を擧げ、奏効ずる理由を明瞭に說き、責任を明かにしてあるから、安心して用ひられる。

▲中毒の危險ある藥を安心して用ひられるか▼

藥劑の中には其の性質が劇烈で、往々中毒作用を現はすものがある、元來劇烈でなくても原料藥品の不純、製劑の粗雜、容器の不適等の爲に、意外の中毒を起すことがある。然るにミツワ家庭藥は性質緩和純良効力一定不變の藥品を用ひ、製劑精確容器完全で、中毒の危險は更に無い。

特長

一、處方を公開し内容を明示す。
二、處方的確にして奏効顯著なり。
三、性質劇烈ならず中毒作用の危險更に無し。
四、藥品純良にして効力一定不變なり。
五、製劑精確にして變質の憂なし。
六、容器完全にして風化潮解することなし。
七、包裝嚴重にして携帶至便なり。
八、内用藥は總て錠劑なれば服用容易なり。
九、日常起り易き病に對し汎く應用せらる。
十、價格低廉にして永く保存に耐ふ。

▲變質する藥を安心して用ひられるか▼

如何に純良の藥品を調合したものでも、紙包にして置くと風化潮解して性質が變り無効有害になることがある。然るにミツワ家庭藥は優秀の藥品を撰び精確の方法で製劑し内用藥は總て錠劑とし容器は罎を用ひ且嚴重に包裝してあるから如何に永く保存しても變質する虞は毫も無い

▲常にミツワ家庭藥を備へねばならぬ▼

怪我してから又病氣に罹つてから藥を求めに行くのでは到底間に合はず不慮の禍を招くことがある斯かる不幸を免れるには一々處方を公開して責任を明かにし、藥品純良製劑精確、容器完全包裝嚴重、變敗する憂なく永久の保存に耐るミツワ家庭藥を平生家庭に必ず備置き旅行の時にも忘れず携帶して早速之を用ふるに限る

ミツワ家庭藥は現代智識階級の要求に應ずる唯一の治病補助機關也

ミツワ家庭藥の効用と定價（内地以外は關稅運賃を加ふ）

品名	効用	容量	定價
ミツワ人參錠	神經衰弱・胃腸炎・精力減退等	百錠入	五拾錢
		五百錠入	貳圓
ミツワ複方人參錠	動脈硬化・腦溢血・心臟病等	百錠入	七拾錢
		五百錠入	參圓
ミツワ健胃錠	胃加答兒・胃酸過多・嘔吐胃痛等	三十錠入	拾錢
		百錠入	貳拾錢
ミツワ消化錠	總て消化を促すべき場合に用ふ	三十錠入	拾五錢
		百廿錠入	五拾錢
ミツワ解毒錠	腸胃を防腐し胃腸病を豫防す	三十錠入	拾五錢
		七十錠入	參拾錢
ミツワ緩[illegible]錠	諸病に因る便祕殊に常習便祕症	四十錠入	拾錢
		百廿錠入	貳拾錢
ミツワ止瀉錠	急性傳染病以外諸種の下痢	廿五錠入	貳拾錢
		六十錠入	四拾錢
ミツワ驅蟲錠	蛔・蟯蟲等腸内寄生蟲驅除及豫防	廿五錠入	十五錢
		六十錠入	三十錢
ミツワ清涼劑	口中清涼・精神興奮・口中病豫防	紙容器入	拾錢
		罎入	參拾錢
ミツワ解熱錠	感冒・レウマチス・神經痛等	三十錠入	貳拾五錢
		百錠入	七十錢
ミツワ祛痰錠	氣管枝炎等呼吸器病一切の祛痰	三十錠入	拾五錢
		百錠入	四拾錢
ミツワ鎭靜錠	頭痛・不眠・癲癇等の如き神經病	百錠入	壹圓貳拾錢
ミツワ婦人湯藥	婦人生殖器病・貧血・所謂血の道	八十錠入	五十錢
ミツワ制酸錠	酒の過飲・惡醉・宿醉・惡心・嘔吐	百五十錠入	貳拾錢
ミツワ鎭咳錠	百日咳・喘息・呼吸器病一切鎭咳	百錠入	壹圓五拾錢
ミツワ點眼液	總て眼瞼及眼球の結膜の諸病	點眼器附罎入	拾錢
ミツワ鼻病液	鼻加答兒・鼻充血・臭鼻症衂血等	罎入	貳拾五錢
ミツワ含嗽錠	咽頭炎及口中一切の病の洗藥	百五十錠入	貳拾錢
ミツワ齒痛液	齲齒其他一切の齒痛に用ひらる	罎入	拾五錢
ミツワ疝痛液	打撲傷・神經痛・レウマチス等	罎入	參拾錢
ミツワ硼酸錠	眼病・婦人生殖器病の消炎防腐	百五十錠入	貳拾錢
ミツワ撒布藥	汗疹・多汗症・表皮剝脫皮膚糜爛	紙盒入	拾錢
ミツワ泥膏	火傷・濕疹・毛瘡・擦過傷等	硝子器入	拾錢
ミツワ螫蟲[illegible]	蟻蚊其他總て蟲に螫されたる場合	罎入	拾錢
ミツワ養毛液	脫毛・雲脂過多を防ぐに用ひらる	罎入	五拾錢
ミツワ痤瘡膏	痤瘡・酒渣鼻・毛瘡・白癬・疥癬等	硝子器入	貳拾錢
ミツワ凍瘡藥	凍瘡・皮膚龜裂・裂水蟲・水蟲	硝子器入	拾五錢
ミツワ制痒膏	濕疹・皮膚瘙痒症・火傷・汗疹等	硝子器入	貳拾錢
ミツワ結核錠	結核性の諸症・肋膜炎・腹膜炎	百錠入	壹圓五拾錢
ミツワ治淋錠	淋疾・膀胱加答兒・尿道加答兒等	カプセル五十個入	壹圓五拾錢
ミツワ淋疾洗滌液	淋毒性尿道炎一般に用ひらる	洗滌器附罎入	五拾錢
ミツワ痔座藥	痔核・痔瘻・肛門裂瘡等痔一切	六個入	參拾錢
ミツワ婦人座藥	白帶下・子宮内外膜炎・腟炎等	六個入	四拾錢
ミツワ腋臭藥	腋臭・會陰臭・手汗・足汗等	罎入	貳拾錢
ミツワ頑癬膏	頑癬殊に陰嚢癬・白癬・濕疹等	硝子器入	貳拾錢

醫學士 小山田 [illegible]

家庭治療法

本書は日常罹り易き疾病の原因症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧に敎へ、醫師にかゝるまでの親切な相談相手となるものである。定價金拾錢。但其半額（郵券代用不苦）添へ御申込あれば一冊進呈す

ミツワ石鹼
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
ミツワ人參葡萄酒　ミツワ規那鐵葡萄酒
肝油ドロップス
御園化粧品

發賣元　○（登錄商標）

東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香料品、小間物問屋

丸見屋商店

電信略號（○ミヤ）　振替口座東京七一○番
營業部電話浪花三○、四四八、四四九、四五○番

汽車

京釜線（南行）[illegible]
同（北行）[illegible]
湖南線（南行）[illegible]
同（北行）[illegible]
京元線 [illegible]
京仁線 [illegible]
同 [illegible]

京城日報

二十九日朝刊
（朝夕刊と併せて八頁）

本紙定價　▲一部金五錢▲一ヶ月金[illegible]▲三ヶ月金[illegible]
廣告料金　▲七字詰一行[illegible]
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通二丁目　京城日報社　電話番號[illegible]　振替貯金口座京城三〇〇番

[illegible]演じ之れを戰前の四五十圓に比すれば約七八倍に當り又[illegible]よりも著しく高値を[illegible]の高値は到底使用に堪へざる所なれば昨今にては需要家[illegible]己むを[illegible]も現はれず市場至つて閑散となれ[illegible]道を告げ居れるを以て旁々取引閑[illegible]

輸出生絲好勢

輸出生絲は米國手筋の需要連續し[illegible]盛にして輸出向同樣の相場を以て取入れ能く下値を支持せるのみならず寧ろ買ひ進みの氣勢を示せる[illegible]現物は勿論期近と西歐戰局の小康は人氣を刺戟し買ひ[illegible]は好勢に轉せり併し大手筋は尙ほ[illegible]に落付就中上一番に對し依然[illegible]は聊か活氣を阻み

露國の擾亂と戰局の前途

最近露國より歸朝したる高柳少將は『露國の擾亂と戰局の前途』に就て左の如く語る

一

米國が戰爭に參加してから最早一年を經過したのであるが此歐羅巴戰場に送つて居る兵數は極めて少いものである、當初の宣言はどうであつたかと云へば少くとも今月あたりには百五十萬の兵を送らなければならぬやうな堂々たる宣言であつたが未だに兵數は揃らぬ行つて居らぬ、米國の出して居る兵數が揃らぬと云ふとは吾々聯合國の軍人としては云ふことは出來ないが、百五十萬の半分も行つて居ないのは事實である。米國の戰爭に對する意氣込みと云ひ之に對する仕事のやり方を見ても實に敬服の外はないのであるが、それにも拘らず去年立派に宣言した所の兵數の半分も歐羅巴の戰場に送れぬと云ふのはどう云ふ譯であるか。夫れには別にむづかしい理由も何もない、唯平常からの準備が出來て居なかつたと云ふ事に[illegible]。イザ假かに大軍を戰場に送らうとしても出來ないと云ふ證據は米國に就て之を見ることが出來るのである。又英吉利はどうであるか、英吉利も戰爭の初めは失敗に失敗を重ねたものである──尤も私は海軍のことは云はぬが──伊太利に就て看れば是れ戰爭の初めに戰に入る準備として六億の貨幣を使つて漸く戰爭に參加した。戰爭の用意ばかりに六億を使つたのである、而かも其六億が立派な働きをして戰が出來たかと云へば決して十分の働きが出來ないで去年の秋は思ひ設けぬ失敗をし、此頃ではどうしても之ではならぬと云ふので國民が更に褌を緊め直したと云ふことである。佛蘭西は戰爭の前に色々政治上の爭があつて軍備擴張のことなどは幾分目的を遂し居たが併し軍事に對する眞の目的は政爭の爲めに忘れられて居る間に戰爭に入つた。其の結果は若干の成功はあつたけれども大部分は敵の爲めに敵き付けられた、今も西方戰場はあのやうな失敗を招き又過去に於いても色々の失敗があつた。其の他これの聯合與國たる塞耳維、白耳義、羅馬尼、爾後の小國に至つては問題にならぬのであるが、吾々の頼みに頼んだ英佛伊の諸强國何れも失敗を重ねて苦しい目に會つて居る。翻つて露西亞に就て見れば其過去に就て更に大なる教訓を得ることが出來るのである、露西亞はあの通り獨裁專制の政府であつた。此獨裁專制の政府は過去の露西亞に於ては大變に宜かつたのである、革命前の露西亞の强大なる所以は此獨裁專制政治の賜であつた。然るにさう云ふ政治の弊として其處に蟲が湧いた。其蟲は官吏の腐敗と云ふことである、官吏と云ふと少し可笑しいか知らぬが國政に携はる者の間に蟲が湧いた其實例は一々擧げぬけれども之を軍事に就て云つて見れば之れが爲に戰爭の準備が出來なかつた。簡單な例を擧げて見れば露西亞は日露戰爭の苦い經驗を嘗めて日本の小國にさへ負けるやうでは大變だと云つて軍備に向つて種々の計畫をしたのである。之れに依つて進んで行けば日露戰爭の經驗に鑑みて非常な立派な國にならなければならなかつた、所で戰亂の初めまで軍事の形の上に若干の改良はあつたけれども内部を解剖して見ると決して立派な改良は出來て居なかつた、彼の陸軍大臣の如きは陸軍の豫算を使ひ切れずして翌年度は剰餘金を以て陸軍の經費を支辨して居つた有樣である、之は露國財政は富裕なる爲にあらずして當局者の怠慢の結果に因るのである

在郷軍人會に望む（一）

在郷軍人會理事　永沼中將講演

二十八日午前九時三十分南大門小學校に於て試みたる在郷軍人會理事永沼中將の講演左の如し

只今當所支部長より御紹介があつた如く自分は滿鮮各地に於ける在郷軍人會の狀況を視察する任務を帶びて各地を巡歷し二十七日京城に參りました。任務が[illegible]と云ふと支部若くは其の役員其他會員諸君より親しく其の狀況を聽き又は其狀況を見ることに在り、諸君の口から私の耳にものを承はるのが自分の主たる仕事で私の口から諸君の耳にお傳へするのが目的では無いのである。假りに何か講演を致すにしても軍事講演とは毫頭考へて居らぬ。在郷軍人會の趣旨を徹底せしめ、若くは狀況に應じて適當に之が指導する方法などに付いて申述べるのであるから、從つて乾燥無味な面白くない話になるのである。此の點は豫め諒恕せられん事を希望して置く。

自分は今回南滿、北滿に亙つて、各地在郷軍人會の狀況を一通り視察して參つたのであるが、尙自分は昨年以來內地に於て在郷軍人會並に青年團の世話をして居る關係上全國各地の狀況を親しく見得る機會が多かつたので、內地の狀況は略之を知つて居る。そこで內地の狀況とを比較すると殘念ながら內地出發前抱いて居た希望はどうやら外れてしまつた樣である。

△鮮滿の狀況

既に朝鮮も半ば視察し了つたが、元來足一歩海外に踏出して、活動して居ると云ふ人間が而かもそれが幸に在郷軍人である以上は假令郷國が異つて居つても、其處に一種の懷しい床しい感じが起つて敢て何會と言はないでも精神的に或る結合を爲すと云ふのは事の自然であると考ふるのである。然るに出發前自分が鮮滿に對して抱いて居た豫想が全く外れたと云ふのは頗る遺憾とする所である。滿洲各地にはいゝ所もあるが

△自分の希望

に充たぬ所が段々餘計にある。夫れは尤も內地と新開地とは事情を異にし、會員の內容に付ても、仕事を見付る爲に長く其の土地に土著する人が少く出入が頻繁で自然軍人會の如きも其の內容が充實しないと云ふ樣な色々な事情の複雜し居る事は萬々承知して居る。其の事情を斟酌して考へて見ても、も少しなつて居るだらうと思はれるのであるが、甚だ成績はよろしくない。

戰時の米國

紐育より：第一信…　切田太郎

拜啓小生の米國を去りしは昨年十月にして今回再び紐育の地を踏みしは二月一日此間僅かに三箇月間なれど其變化たるや實に驚くべく戰爭の氣分全國に充溢し食料や石炭の不足を目前に見て眞に戰慄致候此府頻りに食料及び燃料の節約を叫び已に御承知の如き無肉日無麥日等今に繼續せられ食糧當局總裁フーバア氏監督の下に各州各郡各市の管理官は各所に嚴重なる臨檢を行ひ之に違反する料理店の如きは二十四時間の營業停止を命せらるゝの有樣市の到る處に『[illegible]料を節制する[illegible]戰は勝つ所以[illegible]』『[illegible]小麥を節して玉蜀黍を代用せよ』『牛肉を用ひずして魚肉と大豆とを食すべし』『ヘットを亂費する勿れ』『砂糖の代りに糖蜜を使用せよ』等の如き政府の廣告揭示せられ居候又石炭は今日にても大不足を告げ無熱日こそ廢止と相成り候も小賣屋に石炭なき爲め一日勝を取ること能はず爲めに風邪に罹るゝもの多く戰爭風と稱し皆々恐れ居候政府の廣告には『石炭を節せよ』『室內は六十八度以上に温むべからず』と有之候他方に於ては戰時貯金券の賣上運動益々盛んにして昨今の如きは月曜日と火曜日とは小學校を半休日とし午前に生徒を各所屬の學校に招集し國歌を合唱せしめ戰時貯金の趣旨を說明し退校の時に五枚づゝの貯金券を[illegible]家族親戚又は友人に勸誘せしめ水曜日の朝登校の際受[illegible]教員の手元に之を差出さしむるの計畫を致居候委員連の申す所によれば大紐育に於ける小學校の數は約六百にして其生徒は約九十萬人あれば一人五枚を賣りて四百五十萬弗の賣上となるべく其半に見積るも二百二十五萬弗を得しとの事に候右にて戰時米國の一端を味ふに足るべしと存候（下略）

朝鮮人指導啓發の爲めに

槐翁

◎朝鮮は、總督政治の實施に伴ひ、諸般の施設に、多大の實蹟を擧げつゝ、ある中にも、驚くべき成績を擧げつゝあるは國語の普及であらう。今度總督の道長官に下された訓示を讀んで見ても、益々普通教育の普及を念とせらるゝ趣旨のやうに察せらるゝから、國語は年を追うて益々普及せらるゝことと思ふ。

◎この國語の普及は、朝鮮人をして、母國の事情に通せしめ、我が人情風俗の機微を知らしめ、我が趣味と諭和せしめ、彼我の懇親を圖らしめ、內鮮人同化促進の上に多大の効果あることは、吾人の多言を要しない所であるが、吾人は內地人にも朝鮮語の修得を獎勵せねばならぬ。

◎世人或は『朝鮮は國語を普[illegible]て、內鮮の同化を圖ることが國家百年の大計である。內地人に朝鮮語を獎勵せんとするは國家の方針と矛盾する』と云ふ人もあらう。國語の普及の國家百年の大計であることは、吾人の共に首肯する所であるも、母國人に朝鮮語を獎勵することが、之れと矛盾するとは[illegible]。否な寧ろ之に依りて[illegible]目的の達成を促進せしむるに至るであらう。

◎先づ我々母國人は、朝鮮に於ける立場、即ち朝鮮人の指導者であることを想はねばならぬ。母國人の朝鮮人に於ける關係は、所謂鳴かざれば鳴かして見やう杜鵑の場合であるから、吾等は彼等の來るを待つて居る場合ではない、進んで彼等を指導する覺悟がなければならぬ。而かも朝鮮語を解せぬ母國人は、朝鮮人に對する同情が少ないから、進んで指導しやうとする熱心も出て來ない。

◎見よ。朝鮮人が國語を話せば、當面の意思を疎通するには差支ないにしても、それ以上進んで人情の機微を穿つことは出來ぬではないか。朝鮮人の國語を朝鮮語に[illegible]通じて聞くのと、通せずして聞くのとは自と異ふのが何よりの證據である。この人情の機微を察して之に適應の手段を執るに於て、初めて眞の理解が出來るのである。

◎當局も、夙にその必要を認められて、朝鮮語の講習を開いたり其他それ〳〵の方法を執つて居られるやうだが、その前途は、未だ吾人の期待する程充分に擧つて居ないやうだ。是れは當事者が朝鮮語を馬鹿にして、只だ形式的に餘儀なくやつて居るからであらう。吾人は、朝鮮人指導の武器として、官民共にこの朝鮮語の修得に意を注がれることを希望して置く。

襟帶集

複刻と其の由來（下）

然るに今回成簣堂叢書第十一篇として世に出でた、文之和尚の手鈔たる『襟帶集』のみは、未だ曾て世に現はれざるのみか、博學の士でも其の書名さへ知つて居るのは稀である。此書の首卷には前にも[illegible]いた如く『文之書』の手署『及び『玄昌』の印があり、又た卷末には、『永祿己巳十月吉日』の題識と、[illegible]の花押があり『枕有思郷泪。門無閒疾人。塵理床下履。風動架頭巾。』の五言絶句がある。全卷悉く文之和尚の親筆で、其の黒蹟の淸雅秀麗なる、其の註釋の簡快犀利なる、讀者爲めに肅然襟を正しうして三拜するを禁じ得ぬであらう。蓋し此書は文之和尚が其の師匠一翁玄心（日向安國寺住）の講帷に侍せしときより稿を起し、後に熙春龍喜（京都東福寺住）の講をも聽き、次第に參酌して遂に此鈔を成したるものであつて、參學多年の業であることが知らるゝ。而して其の註釋の丁寧懇切であることは、殆ど紙葉を餘白なきまでに書き列ねてあるに見ても明かである。

△此書は精巧なる寫眞石版に附して、行間又は欄外註釋の一點一畫、朱墨兩樣の句讀をも漏らすことなく鮮明に印刷し、以て原本の神彩を傳へて居る。此書の校合と印刷には、半歳年餘を費し、其の製本にも多大の注意をしてある。第一號より五百號に至るまで一々番號を記入し、且つ成簣堂の捺印をなす等、悉く例の通りである。因に本叢書は毎篇五百部限りの刊行で絶對に再版しない。既刊の中夙くに品切れとなつて居るのは、准海寄音、白隱和尚垂示、酒餅論、[illegible]臣帆、論語鈔で、殘部は少となつて居るのは、襟翁雜說、月江和尚錄、戶田左門覺書、茂睡考、大福夜話である。以て本叢書が如何に江湖の學者の士に歡迎されて居るかゞ知れる。

△『襟帶集』には別冊として『南浦文之和尚』の一冊が添へてある。こは多年刻苦して禪家の史料を研究せる森大狂氏の筆に成るもので鎌倉時代に程朱の學の傳來せるより說き起して、足利時代に及び、五山に於て宋儒の學を講述せる傳統に溯りて、遂に南浦文之に至り、五十餘年文教振作に盡瘁せる行事を敍述し、最も精彩を著けて居る。此は『南浦文之和尚』といふ、寧ろ一部の日本儒學史と稱して可なりである。此書に依つて本書の手鈔者たる文之和尚の時代と其の成人とを明かにし、以て本書を對照する時は、讀者の利益する所の大なるは勿論、實に讀書の樂みの融々たるを覺ゆるであらう

（東京民友社發行定價金五圓）

梅溪棹月　新野良隆

繫得棹篷賣酒門。暗香風裏欲黄昏。月明棹下碧溪水。殘雪一村梅一村。

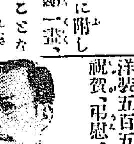
春雨忽晴　稻孫　山崎　集

宿雨新晴[illegible]眼開。[illegible]塘一帶翠烟堆。春[illegible]滿地[illegible]。花影離披入座來。

◎愈々完成せる　新體美文　手紙文庫

◇本文庫一冊あればどんな手紙文にも立派に書ける
◇今回完成
◇空前の大著

新體美文手紙文庫は明治文壇の美文家川上眉山先生の高足岩田鳥山先生が半生の心血を傾倒したる艶麗典雅の美文にして在來の類翰文とは全然其内容を異にし先づ全卷を春の卷、夏の卷、秋の卷、冬の卷、雜の卷の五卷に分ち各卷更に月別とし其月々に必要な用語、類句。文例を洩れなく集め數實に一千三百餘種に達し三六判洋裝五百五十頁の美本にして婚祝賀、弔慰、見舞、通知、貸借、贈答



文を始めとし四季の時候文は勿論敍事文に感文或は泣かしめ或は笑はしめ[illegible]は恍惚たらしむる濃艶悲痛輕妙の手紙も本文庫さへあれば即座にスグ卽座に思ふ通りの手紙が自在に書き得られ事實外の書翰の五倍も十倍も役に立つ之が本文庫無二の特色にして著者苦心の存する所である今回完成記念のため定價一圓五十錢を破格の特價一圓十錢に割引す希望者は直接切ぬ內に新聞名記入注文あれ代金は後金引換郵便にて送る
（前金注文なれば送料共一圓十八錢）
東京市青山南町六丁目一三五
手紙文庫刊行會
振替東京三〇四八一番
◎此際注文者に限り特に日用必須書翰文用語集全一部無代添付進呈す

商業登記

株式會社漢湖農工銀行開城支店支配人水野遁ニ係ル登記事項中變更
大正七年武月武拾七日敷地分割ニ因リ主人ノ住所ヲ京城府南大門通武丁目四拾番地ノ壹ト變更シタリ
右大正七年四月武拾六日登記
京城地方法院開城支廳

早稻田大學講義錄
經營卅有餘年 講義錄の權威

▼成功の基礎を造る　獨學機關！小學卒業後自宅で中學入校同樣の資格が得らるゝ
早稻田　中學講義

▼總長大隈侯より奬學メダル贈與其の他特典多大　速に來れ！　新學年開始
早稻田　商業講義

▼今や商業の世の中！商界活躍の武器は是れ

申込次第見本附規則書直に送呈
東京牛込早稻田　早稻田大學出版部　電話番町 三四五 三七四 二四二二

（最新刊）
快著出づ
京都大學文科講師　米田庄太郎先生著
現代性慾生活問題
四六判布製總金入天金　定價金壹圓卅錢　郵稅金八錢
米田先生は現代社會學者の泰斗也夙に歐米各國民の性情の研究と我國現代の性慾生活とを專攻して餘蘊なく其造詣の深き內外に比儔を見ず而して本書は先生の忠實にして精透なる研究の結晶物也科學と現實より來れる特產物也國家の盛衰が主として民性の汚隆と人情の淸濁とに由來する事理を闡明したる快著也切に江湖の一讀を勸む
大賣捌所　東京神田表神保町　東京堂
東京芝區南佐久間町　振替東京三六五〇〇　中外新論社發行

櫻岳　藤戶計太著
最新朝鮮地理
最新刊　總クロース金文字入八百五十頁　定價二圓　郵稅內地三十二錢 外三十錢

一、本書は道府郡行政區域の改正後面里洞新設に依る最新の地理書にして志賀重昂先生卷頭序文の一節に曰く『此の書は實に帝國希覯の朝鮮地理書なり』と以て其の一斑を窺ふに足るべし
一、本書は第一編全道第二編各道第三編各地に分類し沿革位置境界、地勢、氣候、産物、人種族制、民籍、戶口、言語、文字、風俗、宗教、教育、衣食住、行政財政經濟、産業、交通は勿論著名山河、島港灣、官公署、學校、會社、組合、銀行、神社、佛閣、殿宇、町名、名所舊蹟、戰場、温泉等を詳記し加ふるに農商工業及金融商業に關する實用的各種の參考表を以てせり
一、本書は附錄としてアイウエオ別道府郡島面索引及內地、臺灣、關東州、樺太の地名表（及五十音別目次を追加し）母國殖民地間の連絡を知らしめ母子國間連續旅行者の便を計れり
一、本書は內鮮人を問はず官民を論ぜず朝鮮に於て公私諸般の事に從ふ士の執務上必要なるは勿論事業經營上の最良指導者たり旅行者の最新案內者なり
一、本書は各種學校各官衙、各銀行、各會社に最も關係多き著名地の必要なる各般ノ事項を蒐集せるを以て各官衙各銀行會社及各種學校講習會の良參考書なり
一、本書地名には朝鮮諺文を附し日本假名を以て內鮮音讀を附加し國語朝鮮語の連絡を知るに便し引いて字音の關係に依り內鮮關係の密接なるを明白ならしめたり
一、本書資料は正確周到にして序次懇切を極め[illegible]を各所に配在し讀者をして多趣ならしめ期せり誠に公前の好著なりとす大方の期待渴望に負かさらんことを[illegible]朝鮮の事情を確實に研究し半島の實情に精通せんとする有志者は速に本書を購求して座右に備へられんことを望む朝鮮地理の蘊奧は本書に依りて腦裏に蓄積せられむ

發行所　京城太平通二丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部
取次所　大阪屋號書房　日韓書房

◎密書公表と露政府
日米離間に利用せんとするか

勞兵會の手にて西伯利政府と米國との秘密文書過激派新聞に公表されたるが是れに關し消息通の談に據れば西伯利には自稱政府と稱するもの多數あり右は多分烏蘇利哥薩克の自稱政府委員と米國の個人間に執行はれたるものならん、米國はナイト提督、浦鹽領事、チスープン鐵道隊長等相聯絡して臨機の處置を執りつゝあるも實體の存せざる所謂自稱政府と斯かる密約を結ぶ可しとも思はれず されど勞兵會派は是れを得たり皆しと吹聽し日米の離間に利用し若くは公衆をして米國に對する反感を起さしむるものたらんと觀測さる(浦鹽電報)

◎我副領事拘引さる

イルクツクにて杉野日本副領事、日本人會長南三郎の兩氏は過激派の爲め軍事探偵の嫌疑にて拘引されたり(哈爾賓特電)

◎セミヨノフ軍益前進
敵の機關銃機關車貨物車を捕獲

セミヨノフ軍は二十一日ボルズヤ西南に於て砲四門機關銃四門を有する約五百名の獨墺俘虜軍を撃退せしを始めとし二十三日ボルズヤのレミウホオハイノル驛には過激派の前哨部隊五十名を滅撃し機關銃機關車貨物車等を捕獲し今やセミヨノフ自ら陣頭に立ち反過激派軍を鼓舞叱咤し一擧チタを略取せんと意氣沖天の勢ひあり之れに對し過激派軍は約三千の赤衛軍と六百名の獨墺俘虜部隊と多數の野砲を擁し四名の獨逸將校指揮に下にあるも强勢なるセミヨノフ軍の前進攻撃に恐怖士氣沮喪し目下ボルズヤ以西數箇所に防禦工事を急ぎ居れり(哈爾賓特電)

◎浦鹽の赤衛軍官衙占領

赤衛軍は浦鹽の官衙全部を占領せり 日本軍隊は外國居留民保護の任に膺り居れりとの來電あり(北京特電)

◎勞農政府 海外貿易制定

勞農政府は民間の海外貿易を禁止し政府自ら是れに當る可き旨法令を以て制定せり(哈爾賓電報)

◎英艦隊奇襲の効果

英艦隊の奇襲に依りジーブルジユ防波堤は全く海岸より中斷さるゝに至れり右は潜水艇の爆發に因るものにて防波堤と海岸との間は幅二十五米突の大穴を生じ且つ其の所在の海岸方面に近きを見れば潜水艇が同港內深く侵入せる事明なり襲撃當時獨逸守備隊全部號笛と半鐘とを以て召集され住民は恐怖してラムスカペル及びブールジユに逃走せり要するに今次の襲撃は人心を衝動せしめ敵の志氣を沮喪せしめたる効果は殊に顯著なるものある可しと(アムステルダム電報)

◎愛蘭徵兵案の反響

愛蘭各地の新聞通信員の報道に依れば徵兵案反對の氣勢は漸次低下したるが如し、デーリーテレグラフ新聞通信員は報じて曰く徵兵反對の叫びは熱狂的反響を起さず若し然らずと言はゞ愛蘭に於ける募兵の著しく好成績を示すに至りし理由解せられざるに非らずや加ふるに愛蘭には愛蘭カトリツク派の偏頗に對して憤慨の情を强むる米國人到る處に滿てりと(倫敦電報)

◎洋紙値上影響

全國製紙聯合會は去る十八日東京[illegible]を續行すると共に本年三月より五分乃至一割の値上を行ひたるが[illegible]爲せる內地商人連中の手放しに依りて在庫品拂底せる結果なるべし[illegible]中小兩洋紙店に交渉を遂げ愈之を賣行する契約を了せり例年五、六兩月は製紙界の最も閑散なる時期[illegible]向あり洋紙の需要多く五、六兩月に値上を行ふは未曾有の事と謂ふべし內地[illegible]業者の使用せるパルプ[illegible]々に輸入せられ隨つて代金も其都度支拂ふを常とせるも現今に於ては一度に二三十萬圓を纏めて拂[illegible]のに非れども他の都合の製紙會社に比すれば比較的低廉なり又原料品の一たる苛性曹達の暴騰も我國[illegible]くる事も亦少しく[illegible]紙値上の結果[illegible]は相當の[illegible]を擧げ得る[illegible]本年上半期の[illegible]以て支辨しつゝあ[illegible]度より各[illegible]民よ[illegible]收する事となり目下本府へ申請中[illegible]しが大正七年[illegible]

瞿鴻機氏逝去

前軍機大臣瞿鴻機氏は廿五日上海にて病死せり享年六十九歲(上海特電)

◎物價騰貴
前月各商品概況

京城重要商品の三月中に於ける物價は依然として昂騰狀態にあり乃ち生産品輸移入品合計の指數は二百十八、九一(大正三年七月の物價を一〇〇として算出)にして前月の指數より六〇、七の騰貴となり前年同月に比すれば六、七四三の暴騰なり今各品の騰落狀況を擧ぐれば左の如し

▲生産品の部

▲騰貴十二品 玄米、精米、小豆、葉煙、明太、雞、鹽、原油、松挽材、松薪、炭、薪、牛皮

▲持合二品 鷄卵、牛肉

▲低落三品 大麥、小麥、大豆、木綿

▲輸移入品

▲騰貴八品 麥粉、精糖、綿糸、和金巾、支那油、棉花、石油、金物

▲保合三品 醬油、清酒、石炭

▲低落三品 麥酒、マツチ、洋紙

例によつて騰落狀況を擧ぐれば左の如し

▲騰貴各品中 玄米及び精米は物價調節の効果少なく當局の努力も案外に効果薄きものゝ如く京城に於ける相場は內地の期米高に煽られ益々昂騰を續けつゝあり小豆は入荷相當にあるも米高につれ依然として相場は手堅き模樣なり葉煙草は賣行き良好にして品薄を來し一般に騰貴を見たり之れを塞越草中物に就て見るに四圓高にて三十三圓六十錢所なりし明太は北鮮地方よりの入荷薄く賣行き騰貴せり鹽は各地共需要期に入り買付多く入荷在荷共に多からず相場强合みなりし折柄暖氣に向ひて其の需要前月に比し約三割の増加を見たる爲高値なりき炭は前月産地にて買急ぎ出貨多かりしため▲相場下落せしも此の期に買占めをなしたる者多く且つ農繁期に向つて出貨減少し少許の騰貴を來せり紙は障子紙日用品の賣行き良好なる上原料高にて相場强し牛皮は入荷例年に比し少なく且つ時局の思惑買をなしたるものありて阪神市場の靜穩なるに比し普通品高値を示したり砂糖は消費者が先高見越しにて買附多く賣行き良好なるも輸送難にて品持を來し且つ臺灣糖減收も手傳ひ上向き綿絲は入荷在荷共に少なく鮮內各地の賣行き良好なると大阪相場の騰勢に伴ない高値を見たり

▲低落各品 大麥は出兵說により一時非常の高騰を來せしも買手の手控へと入荷過多のため手持品多く下落を見たり小麥は入荷多かりしも內地註文鼓許手控への態度にて相場少しく下落し前途尙ほ弱氣味なり大豆は內地よりの買註文少なく小麥同樣下落し尙ほ先途少しく弱腰の體なり眞荏は入荷少なかりしも商家の手持ち多かりしため相場に多くの變化なし酒は入荷在荷共に相當の高にして時節柄賣行き良好なるも例年に比し高値に付幾分不況なるを免れず

◎敵潜水艇封鎖
一時的閉塞

外電所報に據れば英國海軍は二十三日の早朝オステンド及びゼーブルゲに侵入し敵の出路を防遮する爲めコンクリートを滿載したる五隻の船舶を水路に沈下せしめたりと云ふ右に就き聞くに同所は敵の驅逐艦及び潜水艇の根據地にして是等の出動を自由ならしめざる爲めに行ひしものなるは云ふ迄もなく而して其有効期間は月餘を出でざるべく或は忽ちにして閉塞船を破壞し盡すやも圖られず且つ潜水艇の如きは吃水淺く閉塞船の上を通過する事亦難事にあらざるべく封鎖の爲めに同所を通過する能はざるとせば潜水艇の如き小艇は陸上より鐵路他の方面に運搬すべきに就き今回の封鎖の効果に至りては甚だ疑問たらざるを得ず然るに敢て斯くの如き行動に出でしは或は西部戰場に此際極力軍隊及び軍需品を輸送せざる可からざる必要よりして敵艇の活動を阻害するを必要としたるやも知れず尙ほ右の閉塞行動は敵前の行動なるに依り十分成功しなりや否やは未だ明かならずと

◎外米管理規則

外國米輸入管理規則は二十六日農商務省令を以て左の如く發布せられたり(東京)

第一條 外國米は農商務大臣の指定したる者に非ざれば之を輸入又は移入することを得ず

第二條 本則施行前に買入たる外國米は本則施行後一月內に農商務大臣の許可を申請し其許可を受けたる場合に限り前條の規定に拘らず之を輸入又は移入することを得此場合に於て農商務大臣は其許可條件を附することあるべし

前項の許可を受けむとする者は左の事項を記載したる申請書を農商務大臣に差出すべし

(一)種類品位及び數量(二)買付の價格場所及び年月日(三)積出地(四)輸入又は移入の地及び其の時期

第三條 本則施行前に輸入の目的を以て買入れたる外國米にして一月內に其の輸入者の所有に係るものに付ては其の所有者は本則施行一月內に限り農商務大臣に對し其の買入を請求することを得但し其の買入價格は其の外國に於ける買入原價運送賃及び諸掛を加へたる金額を超ゆることなし

前項の請求を爲さんとする者は左の各號の事項を記載せる請求書に第一號乃至第三號の事項を證明するに足る書類を添附し之を農商務大臣に差出すべし

一 所在地。各所在地別種類、品位及び數量
二 外國に於ける買入原價其の代金の支拂方法及び時期
三 運賃及び諸掛の明細
四 輸入米及び輸入の年月日
五 買入希望價格
六 前條の許可を受けたるものに關する時は其の許可の年月日

第一條の規定に依り農商務大臣の指定したる者は第一項の請求を爲すことを得ず但し本則施行後一月內に限り第五條の規定に依り買入を爲したるものと同一の取扱を受くることを請求することを得第二項の規定は前項但書の請求を爲す場合に準用す

第四條 前二條の規定は本則施行後三日內に買入たる場合に之を準用す

第五條 第三條第一項の請求ありたるときは農商務大臣は其の指定したる者をして其の買入を爲さしむることあるべし

第六條 農商務大臣又は地方長官必要と認むるときは米若しくは麥を所有し又は之を保管する者に對し其の數量に關する報告を命ずることあるべし

第七條 第一條又は第二條の規定に違反し外國米を輸入又は移入せる者は百圓以下の罰金又は三月以下の懲役に處す

第八條 第六條の規定に依り農商務大臣又は地方長官の命令を爲したる場合に於て其の報告を怠り又は虛僞の報告を爲したる者は百圓以下の罰金に處す

附則 本令は公布の日より之を施行す

◎朝鮮關係航路

遞信局調査最近に於ける朝鮮沿岸航路の實狀は總督府命令百五十一隻噸數四千五百四十一噸にして內朝鮮郵船十七隻鎭南浦汽船三隻高羽氏白三十一隻となり外に全南務安郡命令一隻二十九噸自營航路三十七隻一千百七十五噸又近海及び沿岸に航行するもの命令自營合計二十六隻三萬四千五百七十九噸以上總計二百十五隻四萬零三百卅噸也

◎段總理の乘艦に非ず
衝突せしは楚泰の護衛艦楚材

二十五日午後八時半上海孝感停車場の下流にて招商局汽船江寛と衝突せしは段總理の乘艦楚泰に非ず其の護衛艦楚材にして江寛の乘組員は船員百六十乘客五百五十の內百五十名だけ救助され楚材艦にも將校兵卒十二名の溺死者を生せり(北京特電)

◎唐氏大總統に要求

唐繼堯氏は大總統府に對し政府が眞に南方と講和する誠意ありや否やを問ひ且つ若し段內閣を根本より改造せば余は何物をも犧牲にして政府の命令に服從すべきも然らざれば斷じて屈服せずと電報し來れり(北京特電)

◎妥協勸告委員出發

南北妥協を政府に勸告する爲め目下開會中の全國商務局聯合大會にては二十六日四名の代表者を上京せしむるに決し該代表者をして尹昌外二名即日北京へ向け出發せり(天津特電)

◎印刷會社設立許可

京城印刷株式會社は豫て京畿道水原郡香山弘氏外七名より其筋に設立出願中の處愈々今回設立許可となりたるが右は資本金六萬圓にて印刷及び之に附帶せる業務を營むべしと

◎大阪だより
大阪經濟界膨脹

當地大倉社貿易商其他商店にて目下使用しつゝあるタイプライターの臺數は歐洲戰亂勃發前の賣行に比較すれば目下の販賣數は約三倍の増加を示すものゝ如く大阪市中に使用せらるゝ概數は約五千臺に上るべく神戶も對外取引關係大阪以上の密接なる爲大阪に匹敵すべく東京は約四千臺を算するものゝ如く橫濱、名古屋は遙かに劣るべく以上の如く目下使用さるゝ外字通信機の臺數こそ戰亂前の經濟力と目下の經濟力の發展とを比較して對支南洋、印度、米國に對する經濟的連絡發展の一面を說明する有力なる參考とするに足るべく假令平和克復するも目下のタイプライターの需要は時代の趨勢上よりも増加するとも減少するが如きはなかるべく觀測されつゝあり

▲大倉組營業變更

大倉組は合名資本三百萬圓を一千萬圓に増加し大倉喜八郎男七百三十二萬圓高島小金治氏六十四萬八千圓大倉粂馬氏三十四萬圓門野重九郎氏四萬二千圓大倉發身氏八萬圓の各出資額なるが右増資と共に事業整理の一着手として上海並に天津支店を始め倫敦ニユーブロードストリート及び紐育支店メルボルン等の海外各地支店を廢止し又大阪東區釣鐘町二丁目所在の支店を廢せる由なるが今後同社は主に有價證券及び不動産の取得利用並に諸種の事業に投資又は貸付の方面に力を注ぐ方針なりと

▲三品高と滯貨

本邦三品相場三百三十圓臺に暴落すると同時に再び四十圓臺に上りし爲め其影響は直ちに綿織物に波及し取引旺盛の景を叩かれ各産地氣迷にて一寸一頓挫の狀を呈し目下見送りの狀なるが一方有望視せられし支那綿絲相場は暴落本邦よりも甚しく目下三百三十圓臺に下りし爲め本邦の引返し相場と十圓以上の鞘開を生じ又取引不振の狀に立返りたるが輸出向綿絲布約五六千萬圓の大停滯を控へながら內地海外の買勢伴はざる眞相場を持續する以上停滯綿絲布は一層増加を高め商落し時局の變化に依る影響にても來らんか停滯綿絲布の始末に困惑し慘狀を來さんも測り難き危機に際し居れりと(大阪支局)

人事

▲岡本東右松氏(朝鮮製糖會社員) 廿八日夜入京巴城館へ

◙百貨百種◙

佛國戰線にある米兵の風紀が紊れたと言ふて米國邊ではやかましくなつて居る相な▲處が其の說の流出所が頗る振つて居るから面白い▲目下佛國戰線に出征して居る米兵にはエール大學生が多い▲何れも米國上流社會の子弟だから品行も方正であつたが▲一度大西洋を渡つて佛國に上陸し愈々戰線に立つ以上は若氣の至りで何あに旅の恥は搔き棄てだ金もあれば酒も飮みたくなる何やや手やと欲しくなるのは人情だ▲處が米國には各宗教團體が聯合して組織した靑年會があつて全國から喜捨を募り集つた金が七千萬圓▲此金で靑年會員はドシドシ佛國戰場の米兵陣營地を慰問した傍ら飮酒其他品行の取締見たやうな事をして▲米兵を一人々々訪問して『お前は國にある母に手紙を何度書いたか』『君は君の父母が君に斯ふして吳れと願つた事を果して行つて居るか』と問ひ掛ける▲而して此等の靑年會員は此の二つの問を大きい切れに書て高く揭げて陣中に活動して居る▲其れは好いとして之等の靑年會員が米兵は此の樣な不品行をやつて居るから益々我等の活動を必要とするのだと言つて▲喜捨金を集める材料に米兵風紀紊亂を流言して居るらしいとは有り觸迷惑の話しだと新歸者の談▲北滿漫遊中の臼井哲夫氏より本社長に一書を寄せて曰く▲八日哈爾賓に入りニコリスタより哈爾賓を經て十四日夜長春に來る一雪解けて漲り溢る黑龍江の濁る流を如何に治めん夢一

婦人公論

▼疑獄事件の裏面に潜む婦人の罪(小松吉代)
與謝野晶子、嘉悅孝子二氏に質す(平塚雷鳥)
不良少年と家庭(西山校長)
私の日本生活から得た感想(一露西亞夫人)
女性史譚 大阪城沒と婦人(新井誠夫)
家庭休憩所也…(戸川秋骨)
合縁奇縁(中川愛永 遠藤清子)
三大小說 秘めたる戀(徳田秋聲) 女人神聖(谷崎潤一郎) 蘭の前(岡本綺堂)
貧乏の一年(?)
官界の腐敗と婦人(三宅…) 私の觀て來た今日の露國(奥山書記夫人)
我等の行くべき途…(久布白落實) …講演 針の若…(渡邊枝)
良妻賢母主義に科學的根據ありや(木村久一)
藝妓を妻にして嫡された工學士(澤田撫松)

東京本郷西片町十 中央公論社

高島北海畫伯 金剛會

本會は文展審査員にして人格崇高學識宏遠時流に超越し卓立一家を成せる北海先生が昨春東洋無比の靈山たる朝鮮金剛山を踏破し得たる處の實景畫を先生獨特高膽の佳想と練熟の妙技を以て雄大豪壯なる奇勝を揮灑し努力の佳作を會員に頒つものとす入會希望の諸君は至急申込あれ◎會則は三錢郵券封入請求あれば送附す◎尙本會揮毫の作品は永く紀念せん爲め總て寫眞にし毎幅會員の住所氏名を附し優美に裝幀し蒐集として發售す以て傑作たることを知るべし

東京市外大森八景坂 武參壹九番地 金剛會事務所

德富健次郎著 新春

三六判四百六十頁 著者スケッチ色刷二葉 絲金裝羽二重表紙 特撮寫眞版五葉 定價壹圓六拾錢 郵稅金八錢

發兌 東京京橋區 福永書店
賣捌 京城本町 大坂屋號

化學應用 水晶紙
◙鐵力・ガラス代用◙
◎本品は耐熱耐水の特長あれば物を包裝して火に掛けても品質更に變化せず 防濕完全(熱湯にて洗滌しても水を包んで他濕氣を受け易きものを包んで殊に安全なり)其透明なるは以てガラスの好代用(價格は頗る廉なり)不引火性は優にセルロイドを凌駕して滑械なき貴重品なり
◎此際營業務擴張の爲本地に特約者を募る希望者は至急照會せられ度(見本は廿錢郵券又振替)
東京市本所林町 東洋水晶紙株式會社 長電話本所三六八六番 振替東京三八三二五番

外科花柳病 內科小兒科 婦人科 宮崎醫院 京城南山町二丁目電話三〇六八番

最新流行帽子

向春 ソフト中折帽子 金二圓より金六圓迄
パナマ帽子 金一圓より五圓八十五錢迄
送料 鮮內十二錢外二十錢
鳥打帽其他最新形澤山取揃へ居り候
◎御注文の際は柄向(縞とか無地など)色合御嗜好及價格頃御寸法御申越被下候は必ず適當の品計ひ御送付可申上候
京城太平通 京城日報代理部 電話一千八十八番 振替京城三〇〇番

大坂屋號

朝鮮總督府編 大正七年 鑛區一覽 定價七十錢
トルストイ叢書 石川三治譯 六〇
抵抗式大强健術 五五
スケツチに合ふ商業手紙の書方 古城米堂 五五
俳句は斯く作れ斯く味ふ 高濱虛子 五五
お伽風のはなし 七五
新らしき詩と其作り方 生田長江
拈華微笑 釋宗演 一、〇〇
人世觀 天民 九〇
最新工作便覽 一、四〇
最新朝鮮地理 一、二〇
世界の大寶庫 南米 野田良治 一、八〇
最新教育學の進歩 尼子止 一、五〇
朝鮮京城管理局編 鐵道旅行案內 定價七十錢

最新刊

代書 裁判所前 電話三七二 江原

法人登記

平康地方金融組合登記事項中出資總口數ヲ四百四拾九口拂込ミタル出資ノ總額ヲ金壹千八拾八圓參拾錢ト變更ス
右大正七年四月貳拾七日登記
京城地方法院平康出張所

法人登記公告

水原地方金融組合登記事項中大正六年度末出資總口數參百四拾七口拂込ミタル出資ノ總額金壹千五百四拾八圓五拾八錢ト變更ス
右大正七年四月貳拾七日登記
京城地方法院水原支廳

京城府告示第六號
一月三十日午前十一時和城墓公園ニ於テ招魂祭ヲ執行ス
大正七年四月二十九日
朝鮮總督府京城府尹 金谷充

[illegible]に對し五、六兩月間一割方の値上を決議したるが其の影響に關し小倉製紙會社に就て聞くに昨年十月以降各用紙を通じて二割方の値上以降二回の値上を加へ實に二割五分乃至四割の値上に相當する次第なり右は上等印刷紙の外國輸入殆ど杜絶したるのみならず黒惡質を[illegible]機械四臺の內三臺は總て上等印刷紙を製造するものなれば今回の値上の効果も從つて尠少ならざるべく既に會社製品特約店たる大倉にして紙價亦僅かに保合を爲すに留まるも本年は前記の如く上等印刷紙拂底の外原料其他製産費の騰貴殆んど底止する所を知らざる態は加奈陀及び樺太品を主として實行の米國よりも禁輸以前の註文品として輸入せらるゝものあり但し從來は千噸の註文品は百噸宛使[illegible]製紙に於ては二三年前の契約品は殆んど使用し盡したるを以て現在使用せるパルプは左程低廉なるも[illegible]つゝあるが小倉製紙に於ては業を使用する事少き爲め寄性曾逢を使用する事も隨つて少く其影響を受[illegible]や疑問となり（門司）

◎忠南と學校費　忠淸南道[illegible]にては從來普通學校費は地方費を[illegible]

さゞめいて　花見氣分に

牛耳洞を埋めた群集一萬　讀者慰安觀櫻會の賑ひ

二十八日の日曜に本社で催した讀者慰安觀櫻大會は近來の盛況を呈した牛耳洞に殺倒した群衆は實に素晴らしいもので東大門倉洞間の臨時列車は倉洞に着く度毎に何千とも知れぬ乘客を吐き出す吐き出された乘客はホツと一息吐く暇もなく一里からの

◎道を長蛇の陣を作つて牛耳洞へ

と志す此外鐵道便によらず東小門を元山街道に沿ふて一路東北へ自動車馬車を飛ばすもあり又徒歩にて來るもあり之等が列車から來た花見客と落ち合ふて差しもの牛耳洞も忽ち人を以つて埋まる此處の櫻は何時も遍く逝く春の名殘として咲き出すのが普通であるが今年は意外に早く陽氣が來た故か未だくと思つて居る中老樹も稚樹も一齊に蕾を破つた二十八日は稍や盛りを過ぎて居たが夫でも倘遅いと云ふ方ではなく

◎駱駝の脊の樣な北漢山を景背とし

消なしい若綠の中に淡紅の霞を棚曳かせて居た、一日千本と迄は行かぬが滾々として流れる谿川を挾んで丘から丘を彩る花の霞は繪にも及ばぬ美觀である、恐ろしい勢で殺倒した一萬に餘る群衆は此美觀に見惚れながら花下に一瓢を傾けるもあり谿川を中心として紅白の幔幕を引き繞らし花ならぬ花の客を呼ぶ茶店に

◎腰を卸して用意の辨當を開くも

ありビール券を仕込んだ煙火は絶えず景氣好く碧空に轟く其度毎にワーッと云ふ鯨波の聲が起つて花の山が動搖めく歡樂の幕は先づ此のビール券から切つて落されたが軈て其中に本社のお伽講演會、寶探し、手踊などが始まり滿山は鼓に沸き立つた日が高くなるに從つて益々賑ひを増し陽氣な囃しが通る幾隊行列が通る謠ふ者踊る者又之等の

◎仕草が面白いとて笑ひ轉げる者

凡そ人と云ふ人が此世の春に魅せられて三春の行樂を今日の一日に盡すのではあるまいかと思ふ程の騷ぎに非情の花も亦浮かれて踊り出すと云ふ有樣、此騷ぎは黄昏時迄續いたが牛耳洞の春も最う之で今年の名殘となるのではあるまいか

☒花の山を賑はせた寶探し　掘り當てた人は何れも大喜び

◇◆◇◆

興味多き餘興の數々、景品引換所の大混雜、各處の賣店の賑ひ、三券藝妓連の乘込、異彩を放つた丸髷姿

牛耳洞に於ける本紙讀者慰安觀櫻會の餘興は先づ龍山涙香氏のお伽講演に始まり續いて廣橋妓生の歌舞、浪花館出演中の落語登喜和會一行の桂小圓治、柳家三輔一座の手踊りなどが何れも

◆大喝采に終ると藝

座連中の喜劇『慾の喧嘩』『花見に因んだ義經千本櫻吉野山道行きの場』などが演ぜられる一方では一時から寶探しが餘興場の脇の山の上に始まると群衆は何れも先きを爭つて探しに出かける

◆銀時計が出るか、反物が飛び出すかと盛んに探して歩く、景品引換への番號札を掘り當てた人は何れも大喜びで本社の景品引換所に持つて來る。此處では景氣を買つて喜んで踊る人、札を握つて押掛ける人などで大混雜、當つたビール、シトロンを打振りながら附近の賣店に飛込んで

◆祝盃を擧げる者もあれば、反物煙草を擔いで得意然として引揚げる者もあつて、何れも『いゝお土産だ』と言ひながら滿延の笑を殘して歸つて行つた更に又サッポロビール寄贈の煙火は二分三分置きに殆んど間斷なく打揚げられ、煙りの中から現はれるビール小旗に結びつけてある

◆紙片には サッポロビール一本から半ダースまでの無代引換券がついてゐてそれを拾ふと何處の賣店へ行つても直ぐに引換へてくれるので、拾つた者は大滿足、其處彼處にビールの滿を引いて花見氣分に浸つたやうであつたこれ等の餘興が始まつてゐる最中に新券、京城券、中券の各券から讀者慰安會の興を添ふるために

◆藝妓連中が各取締に引率されて約三十人車を連ねて乘込んで來て花見客の間を練り歩いたのは例のサッポロビールの半被を連中の丸髷姿と相待つて頗る異彩を放つたものだつた

□東宮殿下行啓

皇太子殿下には二十八日午前八時上野電氣博覽會に行啓あらせられたり（東京特電）

讀者慰安觀櫻會餘興場の賑ひ（上）綱渡りを見る群衆（下）藝座連　義經千本櫻道行の場

◎呑仲買檢擧　仲買全部召喚

農商務省にては二十六日買方仲買の帳簿を取調べたる結果呑仲買が帳簿を二三にし詐欺的行爲を働き居れる事實を發見し事態容易ならずとし二十七日警視廳側と密議を凝らしたる結果協力して呑仲買の大檢擧に著手し二十七日より二十八日に亘り農商務省官吏は警官と共に多數取引所に出張し蠣殼町五十九戸の仲買全部を悉く召喚して帳簿の嚴重なる取調べを續行しつゝあり爲めに蠣殼町一帶は大狼狽の態なり（東京特電）

◎大造殿の工事　基礎工事が濟めば

＝出麗無比の康寧殿＝

昨年の秋炎上した昌德宮大造殿の跡には景福宮の康寧殿を移す事となり今年の春の初め地鎭祭を執行した事は既報の通りである目下は李王職主殿課管掌の下に鐵筋混凝土を以つて基礎工事を施して居るが此康寧殿と云ふのは元來御常用として建てられたもので曾ては李太王殿下及び閔妃が御起臥になつた事もある大きさは恰度大造殿と同じ位で凡そ三十疊の接見室があつて其兩側に四疊半位の小さな室が幾つもあるから李王殿下の御居殿としては蓋しお誂へ向きのものであらう其康寧殿も今度建政殿、慶會樓など、相俟つて壯麗無比と言はれて居る今日之を建築しようとしても第一彼處な材木が無いから駄目であると言はれて居る今日之を建築し基礎工事終ると直ぐ昌德宮へ移される豫定であるが肝腎の基礎工事が却々暇が懸るから迚も今年中に落成を見るやうな事はなかろうと云ふ話である

◎亂暴極まる三名の女

＝人糞を食はして殺す＝

平北昌城郡小倉面大楡里坑夫文洪楠妻金洛淳（二九）は四月十日附近の美明福妻金氏（二九）に對し汝は支那人と不義を働きたる女なりと惡口したる由を聞きたる明福の母金氏（六〇）は嫁の金氏と妾京洙の妻朴氏（二〇）の應援を得て女三名が協力して前記の金洛淳女を亂打したる上同女の口及び鼻を初め顏中に人糞を塗りつけて遂に窒息絶命するに至らしめたる事を探知せる大楡里憲兵駐在所にては前記の三名を逮捕し取調べの上檢事局へ送れり

◎內地に來た生蕃　蕃刀を腰にして

臺灣生蕃の一行は二十五日朝東京驛に安着した一行五十九名（內女十一名）の面々は煤けた樣な顏に凄い樣な眼を光らせて居る、男は何れも頭の頂邊に鈴の付いた椀形の帽子を冠り赤の印度模樣の付いた切地を袈裟なりに懸け

◬紺の越中褌を締めて[illegible]はまる出し、金銀を鏤めた蕃刀を腰にして肩を怒らしてゐる、女連は流石に大股だけは憚つて包んでゐるが角兵衞獅子の穿いてるダッ付け袴のやうなものを著け頭部には鹿の皮に豹、野犬などの牙や內地の五十錢、廿錢の銀貨を配した美術的の冠を戴いて居る斯くて一行は部落の頭目添ひに率ゐられて

◬穿つけぬ草履を引摺り宮城を遙拜し八時に麴町平河町の某旅館に落ち付いた處で風呂に入つた後食膳に向ひ味を付けた野菜物のお浸しに汁醬の煮付けと鷄卵の入つた汁を副て就れも米飯五六杯づゝ平げた、そして夫婦者を中に挿んで夜著一枚引被つて眠足らぬ夢を心行くまで貪つた

◬此一行は悉く北蕃タイヤル族と南蕃ツオウブメン族の頭目許りで年長者はボオナイタパス（五五）と云ひ最年少者はマハクツワンキ（一六）君である、其內中村藥劑師の未亡人たるヤジッベリヤと稱する女もあつて通譯の役を勤めてゐる彼等の過半は昨年まで一挺の銃を擔いで山間に出沒し盛んに內地人の首を狙つた獰猛な蕃人である（東京）

◎ネアンダー氏を訪ふ　近日出發北行せん

瑞典人ネアンダー氏は或る嫌疑を受けて去る二月八日日本より北行歸國の途京城に止められ爾來殆ど八旬朝鮮ホテルに滯在し最初は戰々恟々

▽室外にすら出づるを恐れた[illegible]書室に出づるも什語る者も無く無聊寂々の日を送りつゝありしが在京瑞典公使館一等書記官フエブレル氏の入京以來急に元氣付き常に兩人相携へて外出し

▽夜間も市中各所を徘徊しつゝありしが愈々事件解決を告げたるを以てフエブレル氏は廿九日夜行にて東京へ向け出發する筈にてネアンダー氏も近日北行の豫定なり右に就き兩氏を

▽ホテルに訪へば『今回の事件に就ては何事も私共の口からは申す事は出來ません、總務監部の前田大佐から御聞きになればそれは格別ですが』とて何事も語らるゝを避け書記官は

▽『朝鮮は大層よい處で、私は今度で二回目ですが汽車も道路もホテルも學校も設備が行屆いてゐる樣です』とてお世辭を言ひ出發の日を問へば『私は明日出發し度いと思つてゐます』

◎女流碁客來らん

＝斯界の權威四段喜多文子＝

本邦圍碁界に於ける女流碁客の第一人者と謳はれて居る四段喜多文子女史は來る六月上旬釜山に來ることになつてゐる、文子女史は謠曲喜多流宗家六平太師の夫人である、女史の秘藏弟子である初段田岡秀子の親戚が釜山にあるので秀子を伴れて見物かたく渡鮮するのださうな

◎鳳山遊園觀櫻會

廿八日鷺梁津鳳山遊園に於ける大阪朝日新聞主催の近畿家族觀櫻會は適々好天氣にて頗る人出多く餘興として寶探し變裝競爭藝者手踊その他舟遊等ありて盛況を極めたる由

◎月尾島觀櫻會

廿八日仁川月尾島に於ける朝鮮新聞主催の觀櫻會は京城龍山よりの觀衆も多數にて是に仁川よりの人出も甚だ多く各種餘興の催しありて頗る盛況を呈したる由

座談　◎蒲公英の變り種

＝白い花の咲くのは食用として妙＝

葉に變化があるので觀賞用としても種類は百二三十ある

◆道々暖かくなると日當りのよい場所に蒲公英が黄金の色を漂らせるやうに花をつける蒲公英は日向所に自生する雜草であるが日本には一種の風味があるので古來より好事家に愛用されてゐる尤も食し方は黄花のものは葉が硬く且つ苦味があるので嫌はれるが白花をつけたのは軟かで苦くない[illegible]栽培するものもある

◆蒲公英は葉の變化が多く[illegible]ので觀賞用としても喜んで[illegible]のであるその葉形は缺刻のあるもの、ないもの、鋸のやうに深く切れ込んだのもあれば柳の葉のやうに著るしく細いのもある或は[illegible]やうに縮むだのもあれば[illegible]たのもあり捲き込んだのもある葉の色に斑入[illegible]二色三色を交へて美しく彩つたのもある此等の變りものは現在に於て百二三十を數へる位種類が[illegible]して居ると言ふことである元來[illegible]

◆無雜作でよいが之を集めるにはどうしても時々郊外に出て目に觸れた物を拾して來ればならぬ尤も二三の變り物が見付けることに心懸けて居れば[illegible]（某談）

朝鮮總督府中央試驗場發明　各官衙指定品
エーアイ塗料　ルナミ金屬磨　販賣
◇エーアイ塗料用途　セメント、モータル、木材、金屬、ボイラー、煙突、ペンキ下塗等、塗、天井、ドアー、窓枠、棚板、紙壁、煉瓦、石
◇エーアイ塗料ノ特徴　[illegible]
◇ルナミ金屬磨　[illegible]
朝鮮一手販賣元
石炭商　京城太平通二丁目（電話七二七番振替京城三二七九番）　西崎商會

淑女畫報　五月號
特色ある書報の要目
口繪◆夜の祈り（三頁大）…島成園◆五月嵐◆白い花（二色寫眞版）
◇御成婚の伏見宮恭子女王殿下　◇閑院宮二女王殿下
◇各女學校卒業式優等生　◇有名家結婚記念
◇大谷九條武子夫人　◇東本願寺裏方の法話
◇神阪婦人アルコウ會の原耶
本文要目―無厭のない文字
◇大阪婦人界の花形…白水
◆健康研究 生食の效力…西川光二郎
◆藥用としての日常食品…山根秀次郎
目八分主義…安田善次郎
些細な注意で得をした話…板倉久子
文子の生ひ立…葛原
趣味を基とした生活…石野孝子
花嫁花聟綺譚…廣瀬夜雨
◇哀話 愛の勝利者…吉田常夏
◇家庭小說 光の門（大好評）小栗風葉
改正定價金卅五錢　東京本町博文館　振替東京四〇

朝鮮總督府裁判所書記　早川保次君編　改定增補第四版　定價一圓　郵稅八錢
朝鮮不動產　商業登記申請書式心得
本書中不動產登記の部には土地調査に依り査定せられたる土地並に不動產登記法に依る申請書式及び官公署の登記に關する囑託書式並に印鑑證明、改印届、保證書、建物圖面、共同擔保目録雛形等を揭げ[illegible]商業登記の部には[illegible]
發行所　京城日報代理部　京城太平通一丁目　電話三六一、二八　振替京城二五七三
取次所　大阪屋號

難病者の福音　哲理治療開始
精神哲學の原理により[illegible]
京城府明治町二丁目小川旅館方　朝鮮哲學館長　江藤旭洲
○治療時間　毎日午前八時より午後九時迄
○治療費　前納一週間金三圓　一ヶ月金拾圓

新著　金剛山紀行
京城太平通一丁目　京城日報社代理部

新荷著　懷中時計

インクレッシー商會　京城本町二丁目電話九七二

仁川　白神洋行
鐵材　鋼　浪板、平板　針金、洋釘
新田帶革總代理店
ペイント、油類一切　コークス、セメント　耐火煉瓦、モルタル　スコップ、シャベル　帶革、ロープ　機械、工具

京日案內
債券高價買入
店員募集
食糧品市
看護婦募集
外交係至急募集
[illegible]

花吹雪

大阪 中谷青霞

(十五)

『所化殿、最うより解りました、可うござる、歸つてお呉りやれ。』

編笠傾けて同顧つて立止つたは主税之助。

『なれど師の坊の仰せもござりますれば、今暫しが程お見送り申しまする、何うやら雨にもなりさうな空合、落して參つたなら路ならば四五町が程の處、一走りお戻りなされませ。』

と後に引添ふて云ふは年頃なら未だ、十六七の稚髮の跡も青々とした所化僧。

『御芳志忝い、降つて參らば又如何樣ともしまする、最う路の程もよう解つてござれば、是れ迄にして戻つて呉りやれ。』

『なれば是迄にしてお別れ申しまする、後は眞すぐに一筋路、やがてお濁など勸める處へ出ませう、靜かにお歸りなされませ。』

『御苦勞でござつた、其うち又々參ると申さう、師の坊に主税之助無事に歸つたとお傳へ下されし。』

『其樣に申しまする、左樣なればお別れ申しまする。』

『氣をつけてお歸りやれ。』

所化僧は其儘後へ引返す、主税之助は見送つてやがて四五町行きしと思ふ頃、折からの春雨が、しと〳〵と落して來た。

『やゝ、降つて參つたな。』

と獨り言つて主税之助、只ある神社の小さき祠の軒に佇み編笠ぬいで、晩と仰いだ空の色、夕暮れに程もない小梅のほとりは幽に靜かな風光である。

月岡主税之助はお坊主の和田了俊に誘はれて、吉原に思はぬ遠引の的となつてより、邸に歸つては尚一層引籠り勝ちの讀書三昧、今日しも歸春に質疑の事あり、豫て昵と親む住持の老僧を小梅のはづれの某寺に訪ふて、今歸るさの圖らずも暮れの雨に出遭ふたのであつた。

『もし殿樣、此方へお入りなされませ。』

突然可愛き聲の背後の方に聞れたので、見ると十二三の女の童、向うの柴折戶の前に佇むで手招きしてゐる、なれど見も馴れぬ童なり小柴垣取めぐらしたる寮のさまも見覺わはない、はてと躊躇ふうちに女の童は蛇の目傘さしかけてツと寄つて來た。

『今呼うだはお身か……?。』

と主税之助はじつと見まもる、垂れ髮の童は臆ぢたるさまもなくきと袖を捉わて。

『ぬしが呼うで來よとござります、其處はいから濡れませうに此方へお入りなされませ。』

『來よとは何方ぢや。』

『この寮でござりまする』

と女の童は十歩の先きの柴折戶の方を指す。

『して何人が呼うで參れとぢや。』

『お越しになれば解りませうに、さアお傘參らせませう、それは此方へ……。』

と手早く蛇の目を渡して編笠を奪ふやうに取る童の機轉さ、主税之助微笑むで。

『さても心利きたるものな、何人ともあれ當座の芳志、ならば雨の歇がるまで其處に繼でも借り申さう。』

女の童に誘はれて柴折戶の前までまた主税之助、ふと打仰向いてじつと見た寮の樣側。

『やゝ、お身は萬字の唐土どの。』

俘虜が邦人の雇人となる

蒙古の曠野を横斷して首府の庫倫に入り後貝加爾を經て烏蘇利沿線を視察し無事浦鹽に歸著した某氏の談に曰く庫倫には

◇蒙古人 が約二萬人と支那人が二萬、露西亞人が千人ばかりもゐるが伯利亞の風雲が危險を呈して以來、本邦人も各地から續々避難して今では三四十人も滯在してゐるチタ市とイルクツクには過激派が横行して危險なので夜間

◇婦女子 は決して外出せぬのみならず男子でさへも常に短銃を携帶して一寸の油斷もせぬと云ふ戰場同樣の警戒振りであるイルクツクから黑龍江沿岸を經て浦鹽に到る間は俘虜の最も多い地方で獨逸や墺地利の俘虜がウヨ〳〵してゐるが

◇過激派 を煽動して種々な事をやらせるものは悉く此俘虜である彼の歐洲から飛行機を取寄せたり裝甲自動車を運搬させようとしたりする者は皆彼等の細工で何とかして平地に波を起させようと苦心してゐる樣子が明に見る

◇獨逸人 は流石に日本人の店などに雇はれてはゐぬが墺太利人となると到る處の日本人の店で雇人となつて眞黒になつて働いてゐる彼等の頭には日本人も露人も無い只金さへ得らるゝならば何處へでも飛込んで行つて歸國の旅用をつくるに

◇餘念が 無いといふ有樣である併し立還つて戰場へ出ようといふのではない今から平和を見越して日本の理髮店などに雇はれながら歸國の日を待兼ねてゐる(浦鹽)

人蔘ミルクキャラメル

日報俳壇

春季雜詠

白き鳥舞ひて長閑や春の空　復ど
草原に雲雀落ち來る夕日哉　同
連翹の花に續ろゝ小雨かな　同
汽車降りて蛙懐しき家路哉　同
ねから〳〵みに軟く古孤や烏交る　味川
樹の根掘りし土の凹みや鳥交る　同
草に並ぶ小き足駄や鳥交る　同
春風に吹かれて丘に讀賢哉　松月
皆と倦て髮刈りゆく日永哉　同
支那人の鋸る唄や暮れ遲き　同
鶯や寺に降りて低き土塀　雛常
國中の業昔尖る餘寒哉　同
麥蒔に媚びて動かぬ鴉哉　同
嶺晴れて花輝かな夕日哉　骨人
藻を潛る鮒赤き魚や春の水　織郎
此里の山背圍き蕨かな　しくけ
河沿に聳め寺門や木の芽風　紫光
高く積れし驛の滯荷や春の風　要村
學校の屋根見ゆ始めて雲雀哉　露蕉
雉子啼くや講堂に近き麥畑　鐵騎

新刊紹介 (到著順)

▲雜辯 五月特別號 多方面より評論傑作を蒐め內容極めて充實せし何れも作者近來の會心の作なりと(四十錢東京本郷區駒込坂下町四八大日本雜辯會)

▲東京問屋便覽(地方事業調査會發行)東京府淺橋町角筈六六地方事情調査會にては取引の交渉先たる東京地方問屋及び製造家の所在營業種目等三百五十餘目一千數百軒を採錄して發行せり、七十錢送料四錢

▲日本の關門(三十一號) 卓絕せる下關港の眞價(柳圭誠) 戰後經營に處する途(一木博士) 憲政の改良 林伯 米價調節に就て(中賀田男)山口縣大島郡海外移民の狀態(近藤代議士)其他(二十錢、下之關市東南部町一四七關門社)

▲海友(九六) 潛水艇の威力、我造船界の覺醒を促す、石炭の利用、日本人の冒險思想其他の外の細論 修養、時報、統計、倉雜等(十五錢大連寺內通二大連海務協會)

▲陽明(七五) 十錢、大阪東成郡天王寺村大阪陽明學會

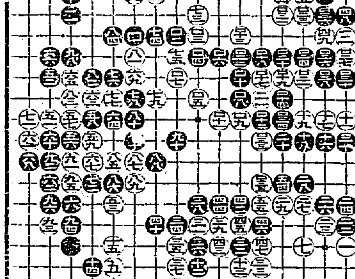
▲北鳴之農民(二の三) 十二錢、青森縣弘前市元寺町農民社

▲婦人週報(四の一六) 五錢、東京市外千駄ヶ谷町二の一七其社

碁戰 十番碁第九局の(六)

三段 山平壽氏　二子 大久保推彦氏

○一二一 ホの八　●一二二 チの七　○一二三 ホの五　●一二四 ホの七　○一二五 ホの四　●一二六 ニの七　○一二七 ヘの七　●一二八 ニの八　○一二九 ニの三　●一三〇 ハの八　○一三一 ヘの五　●一三二 ロの七　○一三三ト への十一　●一三四 への十　○一三五ト ニの十三　●一三六 ニの五　○一三七 タの二　●一三八 レの二　○一三九 レの三　●一四〇 タの四



銑鐵需要手控 市場依然强硬

方其の供給は印度米國方面の杜絕に次で支那及び內地も之が供給意の如くならず其の結果として市價保つの奇現象を呈するに至れり而して其の原因は全く供給激減に職由し其の價格たるや殆んど常軌を

▲取引甚閑散

となれり 待ざる必要の外殆んど手控への姿而して需要…り併しながら目先き事業界は益々服なるに拘はらず市價甚だ强硬に此の先物迄適品薄を告げ市場亦新高値に買ひ進まれ頗る好調を辿りつゝありたるが前週末信州上一番の一齊に見送り市況頓に沈靜に歸し…繁忙を加ふると共に供給も殆ど杜絕して昨今は東京三百六十圓大阪三…廿四日に入りて著しく緊張し定期系の奔進を相俟つて各節の期待せる押目は寸望みなき趨勢となれるより遂に當用必需口に商談を運び場違物は暴騰して崩進に取入れ信…たる者の如く向後の成行も覺束大手筋の去就によりて支配せらるべきやに觀測さる(東京)

七日ツムラ鏡をどらん色白くなるゲンノ液

今東京で大評判の元素液色黑き顔赤き顔日ヤケ、おしろいヤケ、アレを防ぎキメ、コマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所品切の時は切手代用御送附あれば送品す送料內地八錢滿鮮卅錢臺樺卅錢 東京神田和泉橋 松本藥店 小瓶二十錢 中瓶四十錢

產地直賣 小賣より五割安 五割安桐町生 流行品の一大世界的産業地 魁

堀出者讀者ノ爲メ正直ニ買入小賣ヨリ五割安ノ提供販賣

雨毛セル 甲四圓三拾錢 乙三圓八拾錢

單衣物羽織袴ニ適當ナル本年御品

召別新柄織出流行品二圓

桐心持良キ最新流行大市式圓

縮緬ニテ紳士學生別如

夏季必用ノ品又白モ在

升經濟的目下流行品

兵兒帶

綿大島 九十錢

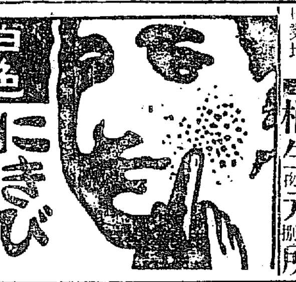
當世ニ持ニ織出タル品 色保證大流行德用品

大島銘仙 六圓

目下流行品中ノ優秀ナル染 年齡ニ好ヲ撰ミテ也 流行品ハ端書デ

注文 中柄ヲ下サレバ見送料ヲ 替デ引替ニ送 ニ一萬一不返品

安心 カラ買方安心 羣馬縣桐生 桐生元賣捌所



白色浄肌劑 ベーリン にきびそばかす

アカ鼻、顏色ドス黑きを治し眞から色を白くする最新の學理による世界的流行のベーリンに內服藥と外用藥との二種あり

口內服藥は白色浄血劑にて根て皮膚病の根本原因たる鐵內毒素を排泄、血を浄め眞から色を白くする

口外用は効能偉大なる大學の處方にて何に汚き顏も驚くべき如く脂肪は奇麗に分解て洗つたより美しくなる

藥價 外用二十五錢より 內服三十五錢より

發賣元 東京上野櫻木町 博仁堂藥房 振替東京二六九九〇番 電話下谷二八八一番

各地化粧品藥店に販賣す

ベーリン化粧料もあり

ルーデサック 十個四十錢 十個六十錢 變形 五錢女用 八十錢 ▲月經帶一圓 七十五錢 卅個以上一割引郵券代用

りん病 十四日目に全治速なり七日分一圓九十錢 本藥は他に無き最新藥淋 お川ひあれ全治 御注文あれ 京城黃金町三丁目 振替京城三二三 …

優等清酒 賀茂鶴

廣島縣西條町 釀造元 木村靜彦

京城府鍾路(中央市場) 發賣元 河野酒店 電話二三〇八番

內科 呼吸器病 胃腸病喘息 小兒科 リユマチス

京城本町二丁目四十五番地 電話二八八〇番 山田病院 院主 山田萬作

營業品目

肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料

石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達

京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五

京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四 電話九七三 振替口座京城〇〇四

資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千貳拾萬圓 總預金 貳億貳千六百萬圓

株式會社 第一銀行京城支店 京城本町二丁目 振替貯金京城一一番 電話二二一、六一、一七番

頭取 佐々木勇之助 支配人 西村道彦

診察時間 自午前九時 至午後六時 初診の御方は可成午前中

京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前) シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

蠅退治

の良法は只此一法あるのみ!! ST式固形石油乳劑を使用して蠅の蛆を撲滅せられよ!!

大阪賣所 一打二十八錢 半打十五錢 送料實費 京城日報社代理部 京城太平通一八番地 電話長三三六 振替京城三〇〇

淋病新藥 ツヨール

故下山藥學博士、慶松藥學博士證明、田中藥學博士、岩川醫學博士檢定、前川醫學士、加藤獨國醫學士、山田獨國醫學士等の實驗の結果理想的內服治淋劑と確定す

▲本品は殺菌力を有し且絕對に胃腸を害せず膀胱カタル、尿道炎、睾丸炎、前立腺炎、消渇等其他一般慢性、急性淋病に偉效を奏す

百粒入壹圓八拾錢 五拾粒入九拾五錢 三十粒入六拾錢

●說明書無料附呈す 製造元東京市日本橋 ツヨール商會 ▲發賣元大阪道修町 田邊五兵衛 振替大阪八六七番

最上醬油 朝鮮仁川府 高杉醬油釀造場

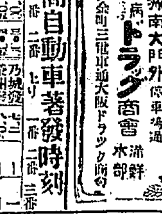
中央巢礎 最新式一時五房付 蜂群飼養法純粋製品 當分左記特價提供 一封度 十封度以上毎封度 五十封度以上毎封度 但荷造送料實費受 製造元 京城府苑洞 中央蜂園 振替口座五三八番

▲流行燈袴▼ 特價金拾圓也 ▲送料廿錢外三十錢

◎純毛にして新流行縞物四種 ◎世間ありふれたる內地製品にあらず

純英國製にして「シワノヨラヌ」 右壹百枚限り特價販賣仕候間至急御注文願上候

京城太平通り一丁目 京城日報社代理部 電話…振替…



りん病ばい毒 患者諸君 にせドラッグあり御注意

近來京城其他各地に於てドラッグあり能く似せられざる様御注意あれ當京城には外にドラッグ商會と稱するものあらはそは全く當商會の商號を盜用する詐欺漢なり

詳細は毎日の本紙を御覧あれ 切に患者諸君の御注意を乞ふ

花柳病 京城南大門外停車場通 ドラッグ商會 京城黃金町三丁目電車通大阪ドラック商會 流鮮水部

京城間自動車著發時刻 乘合自動車部 金泉支部

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告

仁川出帆 ◎神戶、大阪行 油頭丸 五月二日 後五時出 / 日清丸 五月九日 後五時出 / 日清丸 五月二十日 後五時出 △群山、神戶、大阪行 南部丸 四月 日 後五時出

元山出帆 ◎西湖津、新浦、城津、清津行 宮島丸 五月五日 後十二時 ◎釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 安平丸 五月四日 後九時出

大連出帆 ◎上海、基隆、打狗行 湖北丸 五月十一日 前六時出 / 須磨丸 五月廿八日 前六時出

內地各港出帆主要航路 南米行 毎月一回 北米行 毎月二回 濠洲行 毎月一回 南洋行 毎月二回 孟買行 一年四回

御注意 ◎外航路(遠洋航路ヲ除ク)ノ切符類ハ五分引 ×印ハ…▲印ハ…

大阪商船株式會社仁川支店 京城切符發賣所

尼崎汽船出帆 仁川、木浦、釜山、下ノ關、神戶、大阪行 大君丸 秀吉丸 神代丸 有代丸 四月 日 後四時出 仁川海岸通 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆 大連行、天津行 相模丸 五月二十日 三河丸 五月十一日 高砂丸 四月三十日 正午出 仁川海岸町 電話十一番 堀回漕部

朝鮮郵船出帆

◯敦賀行 平壤丸 五月六日 清津發城津元山經由 五月九日 元山

◯浦汐行 大阪發門司、釜山元山城津經由 山陽丸 四月三十日 釜山 五月二日 元山

◯雄基行 穩城丸 五月二日 元山

◯大阪行 平安丸 五月三日 元山發 五月五日 釜山發

×京畿丸 五月五日 元山發 五月八日 釜山發

忠清丸 五月八日 元山發 五月十四日 元山發

◯關門行 ×廠耶山丸 五月六日 元山

◯金剛山遊覽便 丸 月 日 元山發

◯鬱陵島行 咸德丸 五月一日 釜山發

◯釜山浦項線 江陵丸、襄陽丸、毎日 釜山、浦項

◯濟州島行 昌平丸 五月五日 釜山發

◯濟州島行 木浦發

◯東廻 慶興丸 五月三日 西廻 公州丸 五月六日

◯釜山麗水線 海州丸、巨濟丸、統營丸 毎日

◯木浦麗水線 順天丸 五月一日 木浦發

◯多島海行 慶興丸 五月二日 木浦發

◯木浦行 慶尙丸 五月四日 仁川發

◯濟州行 江丸 商陽丸 毎日一回 仁川發

◯鎮南浦行 金州丸 五月一日 仁川發

◯青島行 江原丸 五月八日 仁川發

◯鎮南浦大連直行線 宗信丸 五月 日 鎮南浦發

本社 京城南大門通(電話一九五) 釜山支店 釜山港佐藤町 元山出張所 元山港岸通 仁川代理店 堀回漕部 木浦代理店 小野回漕部 京城荷客取扱店 京城南大門驛前 松原運送店

汽船 釜山出帆廣告

◯門司、神戶、大阪行 和歌浦丸 月 日後五時 立神丸 月 日後五時

◯元山、浦津、浦鹽行 利歌浦丸 月 日後十時 立神丸 月 日後四時

◯佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天草丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後

◯元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三平安丸 四月 日後六時

◯門司、宇品、神戶、大阪行 第三平安丸 四月 日後六時

本船取扱店 釜山港埠頭 大池回漕店

阿波共同汽船 仁川出帆

之栄、大連行 共同丸 四月廿八日 午後 / 十六共同丸 四月廿九日 午前

阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七…) 仁川代理店 春日町(電話二四四七) 山口商會 元山代理店 南大門(電話二七六〇八二) 京城取次店 河村運送店